

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2000 年 12 月 14 日 (14.12.2000)

PCT

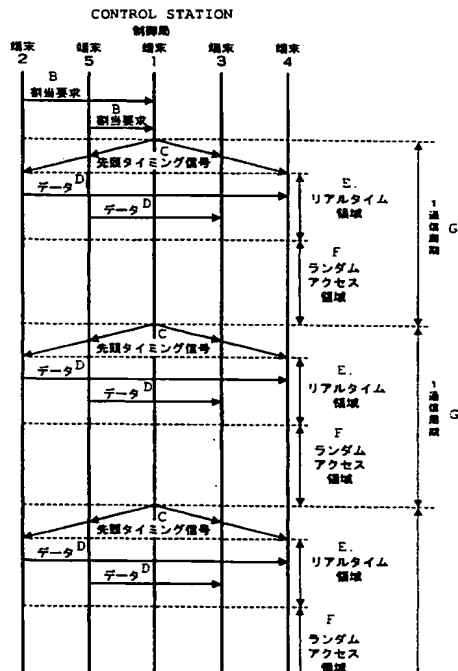
(10) 国際公開番号
WO 00/76133 A1

- (51) 国際特許分類: H04L 12/28 (72) 発明者; および
(21) 国際出願番号: PCT/JP00/03734 (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 林 守彦
(22) 国際出願日: 2000 年 6 月 8 日 (08.06.2000) (HAYASHI, Morihiko) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 Tokyo (JP).
(25) 国際出願の言語: 日本語 (74) 代理人: 弁理士 松隈秀盛 (MATSUKUMA, Hide-mori); 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目8番1号 新宿ビル Tokyo (JP).
(26) 国際公開の言語: 日本語
(30) 優先権データ: 08 Feb 01/20 m8y
特願平11/160793 1999 年 6 月 8 日 (08.06.1999) JP (81) 指定国 (国内): CN, KR, US.
特願2000/69161 2000 年 3 月 13 日 (13.03.2000) JP (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE).
特願2000/142127 2000 年 5 月 15 日 (15.05.2000) JP
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ソニー株式会社 (SONY CORPORATION) [JP/JP]; 〒141-0001 東京都品川区北品川6丁目7番35号 Tokyo (JP).
添付公開書類:
— 国際調査報告書

[続葉有]

(54) Title: COMMUNICATION METHOD, COMMUNICATION SYSTEM, AND COMMUNICATION TERMINAL

(54) 発明の名称: 通信方法、通信システムおよび通信端末



- 2...TERMINAL
5...TERMINAL
1...TERMINAL
3...TERMINAL
4...TERMINAL
B...ALLOCATION REQUEST
C...FIRST TIMING SIGNAL
D...DATA
E...REAL-TIME DOMAIN
F...RANDOM ACCESS DOMAIN
G...ONE COMMUNICATION PERIOD

(57) Abstract: Real-time access and random access are both used, and the throughputs of a communication device and a communication network are improved. In response to requests of allocation of communication timings sent from LAN units (2, 5) to send real-time data, a LAN terminal (1) operating as a communication control station allocates the communication timings and notifies the LAN terminals connected to the same network of the information representing the allocated communication timings. The communication terminals, the requesters, send data in a real time domain at the communication timings allocated to them and send random data in a random access domain.

[続葉有]



2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

リアルタイムアクセスと、ランダムアクセスとの両方を併用可能とするとともに、通信装置や通信ネットワークにおいてのスループットの向上を実現することを課題とし、解決手段として、リアルタイムデータを送信しようとするLANユニット2、LANユニット5からの通信タイミングの割り当て要求に応じて、通信制御局として動作するLAN端末装置1が通信タイミングを割り当てるとともに、この割り当てた通信タイミングを示す情報を同じネットワークに接続された各LAN端末装置に通知する。要求元の通信端末は、自己に割り当てられた通信タイミングに基づいて、リアルタイム領域でデータを送信するようにし、ランダムデータは、ランダムアクセス領域で送信する。

明細書

通信方法、通信システムおよび通信端末

技術分野

5 この発明は、例えば、コンピュータ端末やその周辺装置などの各種の装置をネットワークを通じて接続し、このネットワークに接続された装置間で通信を行うようにする通信方法、通信システムおよび通信端末に関する。

10 背景技術

同一チャンネルを複数の通信端末が共用するネットワークにおいて、同一チャンネルでの伝送の輻輳を発生させることなく通信を行うようにする各種の通信方式が用いられている。例えば、CSMA (Carrier Sense Multiple Access) 方式、TDMA (Time Division Multiple Access) 方式、ポーリング方式などがある。

CSMA方式は、伝送するデータを所定の大きさの packets にまとめて伝送するようにするものである。この方式を用いる通信端末は、予め決められた周波数の搬送波（キャリア）を用いて packets を送信する。そして、packets の送信に際して、送信に使用するチャンネル（伝送路）に、他の packets があるかどうかを調べるために搬送波の検出（以下、この明細書では、キャリア検出という）を行う。

25 このキャリア検出の検出結果に基づいて、使用するチャンネルが空いているときに、packets の送信を行う。このCSMA方式は、伝送速度が1メガビット／秒～10メガビット／秒程度のLAN (Local Area Network) などに適したも

のである。

また、T D M A 方式は、送信時間を時分割することにより複数個のいわゆるタイムスロットを形成しておき、通信の開始時に通信端末毎にパケットを送信するタイムスロットを固定的に設定するようにする。そして、各通信端末は、自己に割り当てられたタイムスロット内においてパケットを送信するようにすることにより、外見上は、複数の通信端末が同時に同一のチャンネル（1本の高速通信回線）を使用しているように見せることができるものである。

また、ポーリング方式は、同一チャンネルを使用する複数の通信端末のそれぞれに対して、通信要求があるかどうかを通信制御装置が問い合わせ、この問い合わせに基づいて、通信制御装置が通信要求のある通信端末に対する通信順序を決定して、通信を行うようにするものである。

これらの通信方式を用いることによって、伝送の衝突を発生させることなく、同一のチャンネル（伝送路）を複数の通信端末で共用することができるようにされている。

発明の開示

ところで、L A N などの通信システムを構築する場合に、通信端末やネットワークにおいてのスループットを向上させることが要求される。また、音声データや画像データなどのいわゆるリアルタイムデータをリアルタイムに、かつ、確実に送受することができるとともに、例えば、コンピュータデータなどのランダムに発生するデータをランダムなタイミングで送受するようにしたいとする要求がある。ところが、前述した通信方式によっては、これらの要求をすべて満足することはできない。

つまり、前述した C S M A 方式の場合、伝送の衝突（伝送路の

輻輳)を回避し、ランダムにデータを送受するようにするランダムアクセスが可能である。しかし、衝突回避のために前述したようにキャリア検出をした結果、もし他の通信端末がデータの送信を行っていれば、自分はデータの送信を行うことができない。このため、データの送信時にランダムな待ち時間が必要になる場合があり、スループットを常時良好に保つことは難しい。また、C S M A方式は、T D M A方式のように通信順序の保証がないために音声データや画像データなどのリアルタイムデータの伝送を保証できない。

T D M A方式の場合には、各通信端末は、自己に割り当てられた伝送順序にしたがってデータの伝送を行うので、リアルタイムデータを確実に伝送することは可能である。しかし、コンピュータデータなどのランダムに発生するデータの伝送では、不使用のタイムスロットが多々生じることになり、非効率であるため、ランダムアクセスには向かない。

また、T D M A方式の場合には、キャリア検出を行わないので、T D M A方式にしたがわない通信端末が同じチャンネルに接続された場合には、伝送の衝突を回避できなくなる場合がある。つまり、T D M A方式以外の通信方式を採用する通信端末とは共存できない。

ポーリング方式の場合には、送受するデータに、通信端末においてのスループットの悪化の原因であるプリアンプルなどのオーバーヘッドがつくために、スループットを向上させることは難しい。

このように、従来の通信方式によっては、リアルタイムデータをリアルタイムに送受するようにするリアルタイムアクセスと、ランダムに発生するデータをランダムなタイミングで送信するようにするランダムアクセスを併用するとともに、スループットを

向上させるというすべてを満足させることは難しい。

以上のことにかんがみ、この発明は、リアルタイムデータのリアルタイムな通信（リアルタイムアクセス）と、ランダムなタイミングでの通信（ランダムアクセス）との両方を併用可能とする
5 とともに、通信端末や通信ネットワークにおいてのスループットの向上を実現させることができる通信方法、通信システム、および、通信端末を提供することを目的とする。

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明の通信方法は、
、

10 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信方法であって、

通信の開始に際し、通信を開始しようとする通信端末の通信タイミングを前記通信周期内に割り当てる通信タイミング登録工程と、
15 と、

割り当てられた前記通信タイミングを前記チャンネルを共用する他の通信端末に通知する通知工程と

を備えることを特徴とする。

この請求項 1 に記載の発明の通信方法によれば、通信タイミング登録工程により割り当てられた通信タイミングが、通知工程により 1つのチャンネルを共用する各通信端末に通知される。
20

これにより、各通信端末は、自己に割り当てられた通信タイミングで通信を行うことにより、他の通信端末との間で通信が衝突しないようにして、確実に通信することができるようになる。

また、チャンネルを共用する複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末の通信タイミングを知ることにより、その通信タイミングに基づいてデータを送信する領域以外の領域で、ランダムにデータを送受するなどのことができるようになる。
25

また、請求項 2 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 に記載の通信方法であって、

前記チャンネルを共用する前記複数の通信端末が接続されたネットワーク中に、前記通信周期を管理する少なくとも 1 つの通信管理装置を設け、

前記通信管理装置は、

通信を開始しようとする前記通信端末が、前記通信管理装置に対して前記通信タイミングの割り当て要求を送信したときに、前記通信タイミング登録工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする。

この請求項 2 に記載の発明の通信方法によれば、通信タイミングは、ネットワーク中に少なくとも 1 つ設けられる通信管理装置によって割り当てられるとともに、チャンネルを共用する複数の通信端末のそれぞれに対して通知するようにされる。

これにより、チャンネルを共用する通信端末のそれぞれは、各通信周期ごとに、自己に割り当てられた通信タイミングに応じたタイミングで通信を行うことができるようにされる。また、他の通信端末に割り当てられた通信タイミングに基づいて、他の通信端末がデータを送信する領域を知り、その領域以外の領域で、ランダムアクセスを行うようにすることもできるようにされる。また、通信管理装置により、通信周期の管理や、複数の通信端末に対する通信タイミングの設定が一元的に行うことができるようにされる。

また、請求項 3 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 に記載の通信方法であって、

通信を開始しようとする前記通信端末が、自己の通信タイミングの割り当てを自分自身で行って前記通信タイミング登録工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする。

この請求項 3 に記載の発明の通信方法によれば、通信タイミングは、データを送信しようとするなど、通信を行うとする通信端末自身によって設定されるとともに、通信を行おうとする通信端末自身によってチャンネルを共用する複数の通信端末に通知される。

これにより、チャンネルを共用する通信端末のそれぞれは、各通信周期ごとに、自己に割り当てられた通信タイミングに応じたタイミングで通信を行うことができるようにされる。また、他の通信端末に割り当てられた通信タイミングに基づいて、他の通信端末がデータを送信する領域を知り、その領域以外の領域で、ランダムアクセスを行うようにすることもできるようにされる。また、通信周期の管理や通信タイミングの設定を行うための通信制御装置を設ける必要がない。

また、請求項 4 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 に記載の通信方法であって、

割り当てられた前記通信タイミングに基づいて音声データや画像データなどのリアルタイムデータの通信を行うリアルタイム領域と、ランダムなタイミングでデータ通信を行うランダムアクセス領域とを、前記通信周期を 2 分して設けることを特徴とする。

この請求項 4 に記載の発明の通信方法によれば、通信周期中には、リアルタイム領域とランダム領域とが設けられる。そして、音声データや画像データなどのリアルタイムデータは、各通信周期のリアルタイム領域において、通信タイミングに基づいて送信され、例えば、コンピュータデータなどのランダムに発生するデータは、ランダムアクセス領域でランダムアクセスにより送信するようにされる。

これにより、リアルタイムデータ、コンピュータデータなどのランダムデータの両方とも、各通信周期ごとに伝送することがで

きるようにされる。そして、リアルタイムデータについては、各通信周期ごとに、そのリアルタイム領域において確実に送信するようにされ、ランダムデータもランダムアクセス領域において、ランダムアクセスにより送信することができるようになる。

5 また、請求項 5 に記載の発明の通信方法は、請求項 4 に記載の通信方法であって、

10 割り当てられた前記通信タイミングに応じて、前記通信周期中に前記リアルタイム領域を順次に設定していき、前記通信周期中の残りの領域を前記ランダムアクセス領域とすることを特徴とする。

 この請求項 5 に記載の発明の通信方法によれば、リアルタイム領域は、データ伝送タイミングに基づいて通信周期中に順次に設定される。そして、各通信周期において、順次に設定されるリアルタイム領域以外の領域がランダムアクセス領域とされる。

15 これにより、各通信周期内に、リアルタイム領域とランダムアクセス領域とを設けて、リアルタイムデータであっても、また、ランダムデータであっても、1 通信周期ごとに送信することができるようになる。

20 また、請求項 6 に記載の発明の通信方法は、請求項 4 に記載の通信方法であって、

 前記リアルタイム領域において送信されたリアルタイムデータが、正常に受信されなかった場合に、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを、前記ランダムアクセス領域において再送信することを特徴とする。

25 この請求項 6 に記載の通信方法によれば、例えば、正常に相手先に送信されなかったために、相手先において正常に受信できなかったリアルタイムデータは、ランダムアクセス領域で再送信するようにされる。これにより、通信タイミングに基づいて、リア

ルタイム領域において正常に受信されるべきリアルタイムデータが受信されなかった場合でも、ランダムアクセス領域で再送信することにより、リアルタイムデータを目的とする相手先に確実に送信するようにすることができるようになる。

5 また、請求項 7 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 に記載の通信方法であって、

前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、前記チャンネルの使用の衝突の回避は、前記搬送波の有無を検出することにより行うことを特徴とする。

10 この請求項 7 に記載の通信方法によれば、チャンネルを共用する通信端末のそれぞれは、共用するチャンネル上に、予め決められた周波数の搬送波があるか否かを検出することにより、当該チャンネルが空いているか否かを確認して、空いているときにデータの送信が行われる。

15 これにより、例えば、データを送信しようとしたときに、妨害波が発生しているなどして、データを確実に相手先に送信できない場合は、妨害波が消滅した後、データが確実に送信することができるようになってから送信する用にされるので、データを確実に目的とする相手先に送信することができ、信頼性を高めることができる。

20 また、請求項 8 に記載の発明の通信方法は、

1 つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、呼び出し元の前記通信端末である呼び出し元端末と、前記呼び出し元端末に呼び出される前記通信端末である相手先端末との間で双方向に通信を行うようにする通信方法であって、

前記呼び出し元端末が、ランダムアクセスにより目的とする前

記相手先端末を呼び出すようにする呼び出し工程と、

前記相手先端末が、前記呼び出し元端末からの呼び出しに応じるときに、前記呼び出し元端末に対して応答を返信する応答工程と、

5 前記呼び出しに対する前記応答があった場合に、前記呼び出し元端末および前記相手先端末のそれぞれの通信タイミングを前記通信周期内に割り当てる通信タイミング割り当て工程と、

割り当てられた前記通信タイミングのそれぞれを前記チャンネルを共用する他の通信端末に通知する通知工程と、

10 を備え、

前記呼び出し元端末と前記相手先端末とは、前記通信周期ごとであって、それぞれに対応する前記通信タイミングに基づいて送信を実行することにより双方向通信を行うことを特徴とする。

15 この請求項 8 に記載の通信方法によれば、呼び出し元端末が相手先端末からの呼び出しの応答を受けたときに、呼び出し元端末と相手先端末との両方に通信タイミングが割り当てられ、各通信端末に割り当てられた通信タイミングが通知される。呼び出し元端末と相手先端末とにおいては、それぞれに割り当てられた通信タイミングに基づいて、通信が行うようにされる。

20 これにより、呼び出し元端末と相手先端末との間で双方向にリアルタイムな通信を確実に行うことができるようにされる。したがって、例えば、電話やテレビ電話などような双方向の通話が確実にできるようにされる。

また、請求項 15 に記載の発明の通信方法は、

25 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信方法であって、

通信の開始に際し、通信を開始しようとする通信端末に対して

通信順位を割り当てる通信順位割当工程と、

割り当てられた前記通信順位を前記チャンネルを共用する他の通信端末に通知する通知工程と、

5 前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、割り当てられた前記通信順位に応じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定工程と、

10 前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、前記同一チャンネル上に、前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出工程と
を備えることを特徴とする。

15 この請求項 1 5 に記載の発明の通信方法によれば、通信順位割当工程において割り当てられた通信順位が、通知工程によりチャンネルを共用する各通信端末に通知される。そして、通信順位が割り当てられた各通信端末においては、空き時間設定工程において、自機に割り当てられた通信順位に応じて、データの送出開始を可能にする共用されるチャンネル上の空き時間の設定が行われる。

20 データ送出の直前において少なくとも必要となる共用する同一チャンネル上の空き時間として、例えば、送信順位が 1 番目の通信端末の場合には 5 0 μ 秒、送信順位が 2 番目の通信端末の場合には 1 0 0 μ 秒、送信順位が 3 番目の通信端末の場合には 1 5 0 μ 秒というように各通信端末ごとに設定される。そして、共用する同一チャンネル上に 5 0 μ 秒の空きが検出された場合には、送信順位が 1 番目の通信端末からデータの送信開始ができるようにされる。

また、同一チャンネル上に 5 0 μ 秒の空きがあるにもかかわらず

ず、送信順位が 1 番目の通信端末がデータを送信しない場合であっても、50 μ 秒の空き時間の検出の後、さらに 50 μ 秒の空きが継続し、共用するチャンネル上に連続する 100 μ 秒の空きが検出されたときには、送信順位が 2 番目の通信端末からデータの送信ができるようにされる。

また、これとは逆に、共用するチャンネル上に妨害波が存在するために、例えば、2 番目の通信端末が、データを送出することができなかった場合にも、妨害波が消えた後で、2 番目の通信端末、3 番目の通信端末の順に衝突することなくデータを送信することができる。

これにより、通信システムが有する伝送要領を有効に活用することができると共に、各通信端末は、同一チャンネルを他の通信端末と通信が衝突しないようにして共用することができる。また、外部雑音などの妨害信号が存在することにより、データの送信ができない場合であっても、妨害信号が消滅した後、送信順位を狂わせることなく、各通信端末はデータの送信を行うことができる。したがって、リアルタイムデータを確実に送信することができる。

また、請求項 16 に記載の発明の通信方法は、請求項 15 に記載の通信方法であって、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出工程と、

前記データ送出検出工程において、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直す空き時間短縮工程と

を備えることを特徴とする。

この請求項 1 6 に記載の発明の通信方法によれば、各通信端末は、データ送出検出工程において、自機よりも送信順位が早い通信端末からデータが送信されたことを検出されたときには、空き時間短縮工程において、自機に設定されている空き時間が短縮される。

例えば、前述のように、送信順位が 1 番目の通信端末の場合には 5 0 μ 秒、送信順位が 2 番目の通信端末の場合には 1 0 0 μ 秒、送信順位が 3 番目の通信端末の場合には 1 5 0 μ 秒というように各通信端末ごと空き期間が設定された場合であって、送信順位が 1 番目の通信端末のデータ送信が終了すると、以下のように、空き時間の短縮が行われる。すなわち、送信順位が 2 番目の通信端末の空き時間は、1 0 0 μ 秒から 5 0 μ 秒に短縮され、送信順位が 3 番目の通信端末の空き時間は、1 5 0 μ 秒から 1 0 0 μ 秒に短縮される。

これにより、送信順位が先の通信端末からのデータの送信が終了したり、あるいは、妨害信号が消滅した後など、共用するチャンネルの占有が解除された直後からの空き時間を常に最短となるようにして、各通信端末からのデータの送信を行うことができる。しかも、予め割り当てられた送信順位も維持され、確実にかつ適正にデータの送信を行うことができる。

また、請求項 1 7 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 5 に記載の発明の通信方法であって、

前記チャンネルを共用する前記複数の通信端末が接続されたネットワーク中に、前記送信順位を管理する少なくとも 1 つの通信管理装置を設け、

前記通信管理装置は、

通信を開始しようとする前記通信端末が、前記通信管理装置に

対して前記通信順位の割り当て要求を送信したときに、前記通信順位割当工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする。

この請求項 1 7 に記載の発明の通信方法によれば、通信順位は、ネットワーク中に少なくとも 1 つ設けられる通信管理装置によって割り当てられるとともに、チャンネルを共用する複数の通信端末のそれぞれに対して通知される。

これにより、チャンネルを共用する通信端末のそれぞれは、各通信周期ごとに、自己に割り当てられた通信順位に応じて、自機がデータを送出する直前に必要となるチャンネルの空き時間を設定することができるようにされる。また、他の通信端末に割り当てられた通信順位に基づいて、他の通信端末がデータを送信する領域を知り、その領域以外の領域で、ランダムアクセスを行うようにすることもできるようにされる。また、通信管理装置により、通信周期の管理や、複数の通信端末に対する通信順位の割り当てを一元的に行うことができる。

また、請求項 1 8 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 5 に記載の通信方法であって、

通信を開始しようとする前記通信端末が、自己の通信順位の割り当てを自分自身で行って前記通信順位割当工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする。

この請求項 1 8 に記載の発明の通信方法によれば、通信順位は、データを送信しようとするなど、通信を行うとする通信端末自身によって割り当てられるとともに、通信を行おうとする通信端末自身によってチャンネルを共用する複数の通信端末に通知される。

これにより、チャンネルを共用する通信端末のそれぞれは、各通信周期ごとに、自己に割り当てられた通信順位に応じて通信を

行うようにすることができる。また、他の通信端末に割り当てられた通信順位に基づいて、他の通信端末がデータを送信する領域を知り、その領域以外の領域で、ランダムアクセスを行うようにすることもできるようにされる。また、通信周期の管理や通信タイミングの設定を行うための通信制御装置を設ける必要がない。

また、請求項 19 に記載の発明の通信方法は、請求項 15 に記載の通信方法であって、

割り当てられた前記通信順位に基づいて音声データや画像データなどのリアルタイムデータの通信を行うリアルタイム領域と、ランダムなタイミングでデータ通信を行うランダムアクセス領域とを、前記通信周期を 2 分して設けることを特徴とする。

この請求項 19 に記載の発明の通信方法によれば、通信周期中には、リアルタイム領域とランダム領域とが設けられる。そして、音声データや画像データなどのリアルタイムデータは、各通信周期のリアルタイム領域において、通信タイミングに基づいて送信され、例えば、コンピュータデータなどのランダムに発生するデータは、ランダムアクセス領域でランダムアクセスにより送信するようにされる。

これにより、リアルタイムデータ、コンピュータデータなどのランダムデータの両方とも、各通信周期ごとに伝送することができるようにされる。そして、リアルタイムデータについては、各通信周期ごとに、主にリアルタイム領域において予め割り当てられた送信順位に従って確実に送信され、ランダムデータもランダムアクセス領域において、ランダムアクセスにより送信することができるようにされる。

また、請求項 20 に記載の発明の通信方法は、請求項 19 に記載の通信方法であって、

割り当てられた前記通信順位に応じて、前記通信周期中に前記

リアルタイム領域を順次に設定していき、前記通信周期中の残りの領域を前記ランダムアクセス領域とすることを特徴とする。

この請求項 20 に記載の発明の通信方法によれば、リアルタイム領域は、データを送信する通信端末に割り当てられる送信順位に基づいて通信周期中に順次に設定される。そして、各通信周期において、順次に設定されるリアルタイム領域以外の領域がランダムアクセス領域とされる。

これにより、各通信周期内に、リアルタイム領域とランダムアクセス領域とを設けて、リアルタイムデータであっても、また、ランダムデータであっても、1 通信周期ごとに送信することができるようにされる。

また、請求項 21 に記載の発明の通信方法は、請求項 19 に記載の通信方法であって、

前記リアルタイム領域において送信されたリアルタイムデータが、正常に受信されなかった場合に、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを、前記通信端末である相手先端末との間で双方向に通信を行うようにする通信方法であって、前記呼び出し元端末が、ランダムアクセスにより目的とする前記相手先端末を呼び出すようにする呼び出し工程と、前記相手先端末が、前記呼び出し元端末からの呼び出しに応じるときに、前記呼び出し元端末に対して応答を返信する応答工程と、前記呼び出しに対する前記応答があった場合に、前記呼び出し元端末および前記相手先端末のそれぞれの通信順位を割り当てる通信順位割当工程と、割り当てられた前記通信順位のそれぞれを前記チャンネルを共用する他の通信ランダムアクセス領域において再送信するものである。

この請求項 21 に記載の通信方法によれば、例えば、正常に相手先に送信されなかったために、相手先において正常に受信でき

なかったリアルタイムデータは、ランダムアクセス領域で再送信するようにされる。これにより、通信順位に応じたタイミングで、リアルタイム領域において正常に送信されるべきリアルタイムデータが正常に受信されなかった場合でも、ランダムアクセス領域で再送信することにより、リアルタイムデータを目的とする相手先に確実に送信するようにすることができる。

また、請求項 2 2 に記載の発明の通信方法は、請求項 1 5 に記載の通信方法であって、

前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、前記チャンネルの空き時間の検出は、前記搬送波の無い場合を検出することにより行うことを特徴とする。

この請求項 2 2 に記載の発明の通信方法によれば、空き時間の検出は、共用するチャンネル上に、予め決められた周波数の信号が存在しない場合の連続時間を検出することにより行われる。

これにより、送信順位が自機よりも先の通信端末からのデータの送信や、妨害信号の有無を確実に検出し、共用するチャンネルに、信号が存在しない空き時間を確実に検出することができる。

また、請求項 2 3 に記載の発明の通信方法は、

1 つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、呼び出し元の前記通信端末である呼び出し元端末と、前記呼び出し元端末に呼び出される前記端末に通知する通知工程と、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、割り当てられた前記通信順位に応じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定工程と、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおい

て、前記チャンネル上に、前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出工程と

を備え、

- 5 前記呼び出し元端末と前記相手先端末とは、前記通信周期ごとであって、それぞれに対応する前記通信順位に応じたタイミングでデータの送信を実行することにより双方向通信を行うことを特徴とする。

- 10 この請求項 2 3 に記載の発明の通信方法によれば、呼び出し元端末が相手先端末からの呼び出しの応答を受けたときに、自己（呼び出し元端末）と相手先端末との両方に通信順位が割り当てられ、割り当てられた通信順位が、通信工程により各通信端末に通知される。

- 15 通信順位が割り当てられた各通信端末においては、データ送出の直前において少なくとも必要となる共用するチャンネル上の空き時間として、例えば、送信順位が 1 番目の通信端末の場合には 5 0 μ 秒、送信順位が 2 番目の通信端末の場合には 1 0 0 μ 秒、送信順位が 3 番目の通信端末の場合には 1 5 0 μ 秒というように各通信端末ごとに設定される。そして、共用する同一チャンネル
20 上に 5 0 μ 秒の空きが検出された場合には、送信順位が 1 番目の通信端末からデータが送信される。

- 25 また、同一チャンネル上に 5 0 μ 秒の空きがあるにもかかわらず、送信順位が 1 番目の通信端末がデータを送信しない場合であっても、5 0 μ 秒の空き時間の検出の後、さらに 5 0 μ 秒の空きが継続し、共用するチャンネル上に連続する 1 0 0 μ 秒の空きが検出されたときには、送信順位が 2 番目の通信端末からデータが送信される。

これにより、通信システムが有する伝送要領を有効に活用する

ことができると共に、各通信端末は、同一チャンネルを他の通信
端末と通信が衝突しないようにして共用することができる。また
、外部雑音などの妨害信号が存在することにより、データの送信
ができない場合であっても、妨害信号が消滅した後、送信順を保
ちながら、各通信端末間において、双方向の通信を行うことがで
きる。したがって、例えば、電話やテレビ電話などようリアル
タイムな双方向通信を確実に行うことができる。

また、請求項 2 4 に記載の発明の通信方法は、請求項 2 3 に記
載の通信方法であって、前記通信順位が割り当てられた前記通信
端末のそれぞれにおいて、前記通信順位が自機よりも前の通信端
末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出工程と
、

前記データ送出検出工程において、前記通信順位が自機よりも
前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記
空き時間設定工程において設定した前記空き時間を、割り当てら
れた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直す空き時間
短縮工程と

を備えることを特徴とする。

この請求項 2 4 に記載の発明の通信方法によれば、各通信端末
は、データ送出検出工程において、自機よりも送信順位が早い通
信端末からデータが送信されたことを検出されたときには、空き
時間短縮工程において、自機に設定されている空き時間が短縮さ
れる。

これにより、送信順位が先の通信端末からのデータの送信が終
了したり、あるいは、妨害信号が消滅した後など、共用する同一
チャンネルの占有が解除された直後からの空き時間を常に最短と
なるようにして、通信端末間において双方向通信を行うことがで
きる。しかも、予め割り当てられた送信順位も維持され、確実に

かつ適正に双方向の通信を行うことができる。

また、レート可変の圧縮方法によって圧縮された信号を伝送する場合にも、例えば平均の伝送レートに合わせてチャンネルを設定しておくだけで、レートの変動によるパケット長の変化にも柔軟に対応することが可能である。

図面の簡単な説明

図 1 は、この発明による通信システムの一実施の形態を説明するための図である。

図 2 は、図 1 に示した各 LAN 端末装置の LAN ユニット（無線通信ユニット）を説明するためのブロック図である。

図 3 は、リアルタイムデータの送信時の処理を説明するための図である。

図 4 は、通信タイミングに応じたパケットの送信について説明するための図である。

図 5 は、パケット送信時に妨害信号が発生していた場合の通信端末の動作を説明するための図である。

図 6 は、リアルタイムデータを送信する場合の通信端末の動作を説明するためのフローチャートである。

図 7 は、リアルタイムデータの再送信について説明するための図である。

図 8 は、リアルタイムデータの双方向通信について説明するための図である。

図 9 は、リアルタイムデータの送出タイミングを固定的に割り当てた場合について説明するための図である。

図 10 は、リアルタイムデータの送出タイミングを固定的に割り当てた場合であって、かつ、妨害信号が伝送路に混入した場合について説明するための図である。

図 1 1 は、この発明による通信システムの他の実施の形態を説明するための図である。

図 1 2 は、図 1 1 に示した各 L A N 端末装置の L A N ユニット（無線通信ユニット）を説明するためのブロック図である。

5 図 1 3 は、図 1 2 に示した L A N ユニットにおいて行われる通信順位に応じたキャリア空き時間の設定について説明するための図である。

図 1 4 は、設定されたキャリア空き時間の短縮処理について説明するための図である。

10 図 1 5 は、L A N ユニットにおいて行われるキャリア空き時間の設定と短縮処理を説明するためのフローチャートである。

図 1 6 は、キャリア空き時間を考慮したパケットの送信制御処理を説明するためのフローチャートである。

15 図 1 7 は、図 1 1 に示した L A N システムにおいて行われるリアルタイムデータを送信する場合について説明するための図である。

発明を実施するための最良の形態

20 以下、図を参照しながら、この発明による通信方法、通信システム、通信装置の一実施の形態について説明する。以下に説明する実施の形態は、複数の通信装置を無線により接続するようにして L A N (L o c a l A r e a N e t w o r k) を構成するようにした場合の例である。

[第 1 の実施の形態]

25 [一方向の通信について]

図 1 は、この実施の形態の L A N の構成を説明するため図である。この実施の形態において用いられる L A N は、サーバ専用機を有さず、ネットワークに接続された各通信装置がすべて同じ地

位にあるようにされる、いわゆる P e e r T o P e e r L A N の構成とされている。

図 1 において、ターミナル装置 1 1、2 1、3 1、4 1、5 1 のそれぞれは、パーソナルコンピュータやワークステーションなどである。このターミナル装置 1 1、2 1、3 1、4 1、5 1 のそれぞれに、この実施の形態の通信端末である無線通信ユニット（L A N ユニット）1 2、2 2、3 2、4 2、5 2 が接続されて、L A N 端末装置 1、2、3、4、5 が形成され、各 L A N 端末装置間で通信を行うことができるようにされている。

そして、この実施の形態の L A N において、L A N 端末装置 1、2、3、4、5 は、例えば、C S M A 方式などの様に、パケット伝送によりデータを送受するとともに、パケットの伝送に先立ちキャリア検出を行って、伝送路の使用の衝突を回避しながら通信を行う通信方式を用いるようにしている。

つまり、この実施の形態の L A N（ネットワーク）に接続された L A N 端末装置 1、2、3、4、5 のそれぞれは、パケットの送信に先立って、この実施の形態の L A N において、パケットの送信に用いる予め決められた周波数の搬送波（キャリア）の有無を検出する。このキャリア検出により、各 L A N 端末装置は、伝送路が使用中か、空いているかを検出し、伝送路が空いている場合に、パケットの送信を行うことによって、他の L A N 端末装置とのパケットの送信の衝突を回避することができるようにしている。

図 2 は、この実施の形態の通信装置である L A N ユニット 1 2、2 2、3 2、4 2、5 2 のそれぞれを説明するためのブロック図である。この実施の形態の L A N ユニット 1 2、2 2、3 2、4 2、5 2 のそれぞれは、図 2 に示すように、アンテナ 2 0 1、送受信部 2 0 2、インターフェース部 2 0 3、コネクタ 2 0 4、

C P U 2 0 5、R O M 2 0 6、R A M 2 0 7、バス 2 0 8 を備えたものである。

C P U 2 0 5 と、R O M 2 0 6 と、R A M 2 0 7 とは、この実施の形態の L A N ユニットの制御部 2 1 0 を構成する。ここで、
5 R O M 2 0 5 は、プログラムや処理に必要なデータなどが記録されたものであり、R A M 2 0 6 は、いわゆる作業領域として用いられるものである。

そして、図 2 に示すように、制御部 2 1 0 には、バス 2 0 8 を通じて送受信部 2 0 2、インターフェース部 2 0 3 が接続され、
10 これらを制御することができるようにされている。また、コネクタ 2 0 4 は、この実施の形態の L A N ユニットとターミナル装置とを接続するためのものである。

そして、この実施の形態において、L A N ユニットの送受信部 2 0 2 は、前述したように、キャリア検出を行い、例えば、制御
15 部 2 1 0 と協働して、パケットの送信のタイミングを制御するようにするとともに、送信データの変調処理や受信データの復調処理などを行う。

また、インターフェース部 2 0 2 は、ターミナル装置とこの実施の形態の L A N (ネットワーク) との間でデータのやり取りを
20 可能にするためのものであり、この実施の形態の場合には、後述もするように、送信パケットの生成や受信パケットの分解などを行う機能を有するものである。

このように、ターミナル装置と L A N ユニットからなるこの実施の形態の L A N 端末装置間でデータを送受する場合の動作を説明する。ここでは、図 1 において矢印が示すように、L A N 端末
25 装置 2 から L A N 端末装置 4 へ、ランダムアクセスによりデータを無線伝送する場合を例にして説明する。

ターミナル装置 2 1 は、L A N 端末装置 4 に送信しようとする

データ、および、自己のアドレス（自己 I D）、送信先のアドレス（送信先 I D）などの情報を L A N ユニット 2 2 に供給する。ターミナル装置 2 1 からのデータは、L A N ユニット 2 2 のコネクタ 2 0 4 を通じて、インターフェース部 2 0 3 に供給される。

5 インターフェース部 2 0 3 は、制御部 2 1 0 からの制御に応じて、送信先 I D や自己 I D などを含むヘッダや送信すべきデータなどからなるパケットを形成して、これを送受信部 2 0 2 に供給する。送受信部 2 0 2 は、供給された送信パケットを増幅するなどの処理を行って送信用の信号を生成し、アンテナ 2 0 1 を通じて
10 て送信するようにする。

このとき、前述にもしたように、この実施の形態の L A N ユニットにおいては、例えば、送受信部 2 0 1 と、制御部 2 1 0 とにより、パケットの送信の衝突を回避するため、キャリア検出を行い、キャリア信号を受信しないことを予め検出し、伝送路が空
15 いているときにパケットを送信する。そして、伝送路が空いていない場合には、伝送路が空くまで待ち状態となる。このように、ランダムアクセスによるパケットの送信時には、ランダムな待ち時間を要する場合もある。

そして、L A N 端末装置 4 においては、無線伝送されてくるパ
20 ケットを L A N ユニットのアンテナ 1 を通じて、受信部 2 0 2 が受信する。このとき、受信したパケットの送信先 I D に基づいて、自己宛てのパケットだけを受信し、受信した自己宛てのパケットをインターフェース 2 0 3 に供給する。インターフェース 2 0
3 は、送受信部 2 0 2 からの自己宛てのパケットを分解し、L A
25 N 端末装置 2 から送信されてきたデータを抽出してコネクタ 2 0 4 を通じてターミナル装置 4 1 に供給する。

このように、L A N ユニット 1 2、2 2、3 2、4 2、5 2 のそれぞれは、無線通信によりネットワークに接続するようにされ

た L A N 端末装置との間で通信を可能にする機能を有するものである。

そして、この実施の形態において、各 L A N 端末装置は、この実施の形態の L A N において用いられる予め決められた長さの通信周期ごとに通信を行うようにするとともに、リアルタイムデータを送信しようとする L A N 端末装置には、予め決められた長さの各通信周期内において、通信タイミングを割り当てるようにする。そして、リアルタイムデータを送信する L A N 端末装置は、各通信周期ごとであって、自己に割り当てられた通信タイミングでパケットを送信する。

また、コンピュータデータなどのランダムに発生するデータ（ランダムデータ）については、予め決められた長さの各通信周期内において、割り当てられた通信タイミングに基づいてリアルタイムデータを送信するため領域（リアルタイム領域）以外の領域（ランダムアクセス領域）で送信する。このように、この実施の形態において、L A N 端末装置 1、2、3、4、5 のそれぞれは、リアルタイムデータと、ランダムデータとの両方を、同一通信周期内の異なる領域で送信するようにしたものである。

なお、この実施の形態の各 L A N 端末装置は、後述もするように、リアルタイムデータを伝送する場合であっても、コンピュータデータなどのランダムに発生するデータを送信する場合であっても、パケットの送信に先立って、伝送路の空きを確認し、伝送路が空いている場合にのみパケットを送信することにより、伝送路の使用の衝突を回避し、リアルタイムデータ、ランダムデータとも確実に相手先に送信することができるようにしている。

次に、この実施の形態の L A N に接続された L A N 端末装置間において行われるパケットの送受などの通信処理についてより詳細に説明する。なお、以下においては、図 1 において矢印が示す

ように、L A N 端末装置 2 が L A N 端末装置 4 にリアルタイムデータを送信し、L A N 端末装置 5 が L A N 端末装置 3 にリアルタイムデータを送信する場合を例にして説明する。

図 3 は、この実施の形態においてのリアルタイムデータの送信時の処理を説明するための図である。この実施の形態において、L A N 端末装置 1 は通信周期を管理する通信管理装置（制御局）としての役割を有するものである。以下、この明細書においては、通信管理装置あるいは通信制御装置と呼ばれる通信端末を制御局と呼ぶことにする。

そして、音声データなどのリアルタイムデータを送信しようとする L A N 端末装置 2 と、L A N 端末装置 5 とのそれぞれは、図 3 の上部左側に示すように、通信タイミングの割り当て要求を形成し、これを制御局として動作することができるようになされた L A N 端末装置 1 に送信する。

L A N 端末装置 1 は、通信タイミングの割り当て要求を受信すると、受信した割り当て要求に応じて、L A N 端末装置 2 と、L A N 端末装置 5 とのそれぞれに通信タイミングを割り当てる。この実施の形態においては、通信タイミングとして、通信周期内においての送出順序を割り当てるようにする。

この実施の形態においては、L A N 端末装置 2 が L A N 端末装置 5 よりも先に割り当て要求を送信したため、L A N 端末装置 1 は、L A N 端末装置 2 に対して、各通信周期内において、第 1 番目にリアルタイムデータを送信するようにする通信タイミングを割り当て、L A N 端末装置 5 に対しては、各通信周期内において、第 2 番目にリアルタイムデータを送信するようにする通信タイミングを割り当てる。

そして、L A N 端末装置 1 は、L A N 端末装置 2 と、L A N 端末装置 5 とに割り当てた通信タイミングを示す情報を含む先頭タ

5 イミング信号を形成する。この先頭タイミング信号は、図3において、LAN端末装置1から左右に別れる矢印によって示すように、予め決められた長さの通信周期の先頭、あるいは、その先頭の直前において、この実施の形態のLANに接続されたすべてのLAN端末装置に送信される。

つまり、先頭タイミング信号は、通信周期を決めるためのパケットであり、1通信周期ごとに、この実施の形態のLANに接続された各LAN端末装置に送信するようにされるものである。これにより、通信タイミングの割り当てを要求したLAN端末装置
10 だけでなく、この実施の形態のLANに接続されたすべての通信端末に対して、各通信周期の先頭タイミングと、要求元のLAN端末装置に対して割り当てた通信タイミングを示す情報とが通知される。このように、この実施の形態のLANにおいては、制御局を設けることにより、ネットワークの効率的な運用をおこなう
15 ことができるようにしている。

そして、通信タイミングが割り当てられたLAN端末装置2、LAN端末装置5のそれぞれは、先頭タイミング信号によってその先頭位置（先頭タイミング）が示される通信周期内において、自己に割り当てられた通信タイミングに基づいて、リアルデータを
20 を目的とする送信先（相手先）に送信するようにする。この場合、パケットの送信に先立って、キャリア検出を行い、伝送路が空いている場合に、パケットを送信するようにする。

そして、キャリア検出の結果、伝送路が空いていた場合には、図3に示すように、通信タイミングとして第1番目が割り当てられたLAN端末装置2が、各通信周期内のリアルタイム領域の初
25 め（第1番目）にリアルタイムデータをLAN端末装置4に送信するようにする。次に、通信タイミングとして、第2番目が割り当てられたLAN端末装置5が、各通信周期内のリアルタイム領

域において、L A N 端末装置 2 がリアルタイムデータを送信した後（第 2 番目）にリアルタイムデータを L A N 端末装置 3 に送信するようにする。

そして、図 3 に示すように、各通信周期の先頭においては、通信タイミングを示す情報を含む先頭タイミング信号が各 L A N 端末装置に送信されるので、先頭タイミング信号によって示される各通信周期ごとのリアルタイム領域において、先頭タイミング信号に含まれる通信タイミングを示す情報に基づいて、繰り返しリアルタイムデータのパケットの送信をおこない、リアルタイムデータが各通信周期ごとに定期的に送信するようにされる。

なお、この実施の形態において、1 通信周期の長さは予め決められている。この 1 通信周期の長さは、例えば、同じネットワークに接続される L A N 端末装置の数や、リアルタイムデータやランダムなデータの送信の割合などの各種の情報に応じて、その L A N（ネットワーク）において、最も適切な長さとなるようにされる。

また、この実施の形態においては、通信タイミングの割り当て要求に応じて、通信タイミングを割り当てることにより、各通信周期中に順次にリアルタイム領域を確保するようにし、各通信周期中において、リアルタイム領域を確保するようにした残りの部分をランダムアクセス領域として用いるようにする。この場合には、リアルタイムデータを送信する L A N 端末装置の数に応じて、リアルタイム領域、ランダムアクセス領域とも 1 通信周期内において可変となる。

そして、例えば、リアルタイムデータを送信するために各 L A N 端末装置の L A N ユニットにおいて形成されるパケットの長さが、すべての L A N ユニットにおいて同じになる場合には、前述のように、第 1 番目、第 2 番目というように、通信周期内におい

ての割り当て順序だけを要求元のLAN端末装置に割り当てれば、通信タイミングの割り当てを受けたLANユニットのそれぞれは、各通信周期内においての自己の送信タイミングを確実に知ることができる。

5 つまり、通信タイミングとして、第1番目が割り当てられたLAN端末装置は、先頭タイミング信号直後が、自己に割り当てられた送信タイミングであると認識することができる。また、第2番目以降の通信タイミングが割り当てられた各LAN端末装置は、例えば、自己に割り当てられた通信タイミング、この場合には
10 順序情報と、1パケット当たりの長さを掛け合わせれば、1通信周期の先頭からの自己の通信タイミングを検出することができる。

 このように、制御局としてのLAN端末装置1からの情報によって、同じLAN（ネットワーク）に接続されたLAN端末装置
15 のそれぞれは、通信周期の先頭位置と、自己をも含めたLAN端末装置のパケットの送出タイミングを知ることができる。これらの情報を基に、各通信周期の先頭位置から確保するようにされるリアルタイム領域がどこまでであるか、すなわち、ランダムアクセス領域がどこから始まるかをも知ることができる。

20 もちろん、各LAN端末装置が、送信するリアルタイムデータの種類や送信すべきリアルタイムデータの量などに応じて、形成するパケットの長さを変えるようにすることもできる。この場合には、例えば、各LAN端末装置から、自己が形成するパケットの長さをも割り当て要求とともにLAN端末装置1に送信し、LAN
25 端末装置1を通じて、送信するパケットの長さをも各LAN端末装置に通知することにより、各LAN端末装置の通信タイミング、リアルタイム領域の終了位置などを正確に検知することができる。また、各LAN端末装置が、自己が形成するパケットの

長さを他の L A N 端末装置に通知するようにしてもよい。

この場合には、通信タイミングが割り当てられた L A N 端末装置が、実際にどこからどこまでの領域においてリアルタイムデータを送信するかを各 L A N 端末装置が正確に知ることができる。

5 また、通信タイミングと、パケットの長さなどに基づいて、各 L A N 端末装置は、通信タイミングに応じてリアルタイムデータを送信するリアルタイム領域がどこまでで、ランダムアクセス領域がどこから始まるかを知ることができる。

10 このように、リアルタイムデータは、通信タイミングに基づいて、各通信周期ごとのリアルタイム領域において確実に送信することができるようにされるとともに、ランダムアクセス領域において、コンピュータデータなどのランダムなデータをも伝送することができるようにされる。つまり、1つの通信周期内にリアルタイム領域と、ランダムアクセス領域との両方を設けることにより、リアルタイムデータとランダムデータとの両方を確実に送受することができるようにしている。

15 なお、この実施の形態においては、例えば、リアルタイムデータの送信が完了したり、あるいは、L A N ユニットのユーザによりリアルタイムデータ送信の終了が指示された場合などには、送信完了指示、送信終了指示などが L A N 端末装置 2、L A N 端末装置 5 から L A N 端末装置 1 に供給される。これに応じて、L A N 端末装置 1 は、通信タイミングの割り当てを解除するようにして、先頭タイミング信号から、送信完了指示、送信終了指示など送信してきた L A N 端末装置に割り当てた通信タイミングを示す情報が削除される。

20 このようにすることによって、実際にリアルタイムデータの送信を行っている L A N 端末装置に対する通信タイミングを示す情報だけが先頭タイミング信号に含むようにされる。もちろん、こ

の場合、通信タイミングの割り当てをし直すことにより、リアルタイム領域と、ランダムアクセス領域とを効率よく設定することもできる。

図 4、図 5 は、この実施の形態においての LAN ユニット 2 2、LAN ユニット 5 2 からのパケットの送信について説明するための図である。LAN 端末装置 2 の LAN ユニット 2 2 と、LAN 端末装置 5 の LAN ユニット 5 2 は、制御局として動作する LAN 端末装置 1 からの先頭タイミング信号（図 4 A）を受信し、この先頭タイミング信号に含まれる自己に割り当てられた通信タイミングを示す情報を抽出して、まず自己の通信タイミングを知る。

この実施の形態においては、前述もしたように、LAN 端末装置 2 には第 1 番目、LAN 端末装置 5 には、第 2 番目という通信タイミングが割り当てられている。そして、LAN ユニット 2 2 は、ターミナル装置 2 1 からのデータに応じて形成したパケットを、自己に割り当てられた第 1 番目というタイミングで送信するようにするが、送信に先立って、まずキャリア検出を行って伝送路の空きを確認し、伝送路が空いている場合に、図 4 B に示すように、リアルタイムデータを送信するためのパケットを送信する。

同様に、LAN 端末装置 5 の LAN ユニット 5 2 は、ターミナル装置 5 1 からのデータに応じて形成したパケットを自己に割り当てられた第 2 番目というタイミングで送信するようにするが、送信に先立って、キャリア検出を行って伝送路の空きを確認し、伝送路が空いている場合に図 4 C に示すように、リアルタイムデータから送信するためのパケットを送信する。このようにして、通信タイミングが割り当てられた各 LAN 端末装置は、自己に割り当てられた通信タイミングに基づいて送信するようにされる。

そして、この実施の形態において、制御局はL A N端末装置1
だけであり、このL A N端末装置1が、各L A N端末装置に対し
て通信タイミングを割り当てるので、同じ通信タイミングが、複
数のL A N端末装置に割り当てられるなどという重複割り当てが
5 行われることはない。

したがって、リアルタイムデータを送信するためのパケットを
、自己に割り当てられた通信タイミングに応じたタイミングで送
信する場合には、この実施の形態のL A Nに接続された他のL A
N端末装置とのパケットの送信が衝突することはない。しかしな
10 がら、この実施の形態のL A Nにおいて用いられる搬送波の周波
数と同じ周波数の妨害信号が存在する場合もあると考えられる。

そこで、前述のように、キャリア検出を行って、伝送路の空き
を確認することにより、妨害信号などが存在することもなく、伝
送路が空いており、確実にパケットを送信できる場合にのみパケ
15 ットを送信するようにしている。

図5は、この実施の形態において、L A N端末装置2が、自己
の割り当てられた通信タイミングに応じてパケットを送信しよう
としたときに、妨害信号が存在していた場合について説明するた
めの図である。

図5Bに示すように、各通信周期の先頭付近には、妨害信号が
発生している。このため、L A N端末装置2のL A Nユニット2
2は、図5Bにおいて、時点T1、T2が示す先頭タイミング信
号の直後（各通信周期内の初め（第1番目））のタイミングにお
いては、妨害信号が存在するために、L A Nユニット22はパケ
25 ットを送信しない。この場合、L A Nユニット22は、キャリア
信号の検出を繰り返すことによって、妨害信号が消滅し、伝送路
が空いたことを検出した後、即座に、図5Cに示すようにパケッ
トを送信する。

また、LANユニット52は、LANユニット22からのパケットの送信が遅れたために、妨害信号がなかったとした場合の自己に割り当てられた通信タイミングにおいてはパケットを送出することはできない。しかし、LANユニット52もキャリア検出を行って、伝送路の空きを検出するので、LANユニット22からパケットが送信された後、伝送路の空きを検出したら即座に、
5 図5Dに示すようにパケットを送信する。

このように、このLAN（ネットワーク）に接続された各LAN端末装置は、キャリア検出を行うことによって、伝送路の空きを検出し、確実にパケットを送信することができる場合にのみパケットを送信する。これにより、この実施の形態のLANの信頼性を高めることができる。また、キャリア検出を行って、伝送路の空きを検出したら最小の間隔でパケットの送信を行うので、キャリア検出によりパケットの送信が遅れることもなく、確実にかつ迅速にパケットの送信を行うことができる。
10 15

そして、この実施の形態のLANに接続されているLAN端末装置は、コンピュータデータなどのいわゆるランダムデータは、図4、図5に示したように、各通信周期内において、通信タイミングに応じてリアルタイムデータを送信するリアルタイム領域RL後のランダムアクセス領域RMにおいて送信するようにする。
20

テキスト形式のメッセージや、プログラムなどのコンピュータデータ（ランダムデータ）を送信する場合、これらは、音声データなどのリアルタイムデータとは異なり、リアルタイム性はあまり問題にならない。したがって、確実に相手先に送信し、相手先において使用者が必要な時に利用することができればよい。
25

そこで、ランダムデータについては、ランダムアクセス領域RMにおいて送信することにより、リアルタイムデータの送信を妨害することもなく、かつ、ランダムデータについても、確実に相

手先に送信することができる。

なお、リアルタイム領域にランダムアクセスの信号（妨害信号）が混入していたために、リアルタイムデータの送信待ちとなった場合であっても、リアルタイムデータの正常な送信を続行するために、送出タイミング（送出順序）に応じた優先順位を付けるようにする。そして、この優先順位に応じて、妨害信号消滅後のリアルタイムデータの送信を続行させるようにすることもできる。

次に、図 6 のフローチャートを参照しながら、リアルタイムデータを送信する LAN 端末装置の動作について説明する。図 6 のフローチャートに示す処理は、リアルタイムデータを送信しようとする LAN 端末装置において、通信タイミングの割り当て要求を制御局としての LAN 端末装置 1 に送信した後に行われる処理であり、前述した例においての LAN 端末装置 2、LAN 端末装置 5 において実行される処理である。

すなわち、通信タイミングの割り当て要求を受信した LAN 端末装置の LAN ユニット 22 は、図 6 に示す処理を開始し、まず、制御局としての LAN 端末装置 1 から先頭タイミング信号が送信されてきたか否かを判別し（ステップ S 101）、先頭タイミング信号を検出するまで、待ち状態となる。

ステップ S 101 の判別処理において、先頭タイミング信号を送信されてきたと判別したときには、先頭タイミング信号に含まれる通信タイミングを示す情報に基づいて、自己に割り当てられた通信タイミングを検知し、自己に割り当てられた通信タイミングになるまでパケットの送信の順序待ちを行う（ステップ S 102）。

そして、自己に割り当てられた通信タイミングになったときには、キャリア検出を行って、パケットを送信する伝送路が空いて

いるか否かを判別する（ステップ S 1 0 3）。ステップ S 1 0 3
の判別処理において、伝送路が空いていないと判断した場合には
、このステップ S 1 0 3 の判別処理を繰り返し、伝送路が空くま
で待つ。ステップ S 1 0 3 において、搬送波が検出されずに、伝
送路が空いていると判別したときには、リアルタイムデータを送
信するために形成されたパケットを送信する（ステップ S 1 0 4
）。

この実施の形態においては、ステップ S 1 0 4 の処理により、
リアルタイムデータを送信するためのパケットが送信された後、
メインの処理ルーチンに戻るようにされるが、目的とするリアル
タイムデータの全部が送信されていないときには、この図 6 に示
す処理を繰り返し、各通信周期のリアルタイム領域ごとであって
、自己に割り当てられた通信タイミングでパケットの送信を行う
。これにより、リアルタイムデータをパケット伝送により確実に
かつ正確に目的とする相手先に送信することができる。

〔リアルタイムデータの再送について〕

ところで、各通信周期内のリアルタイム領域において送信した
パケットが、例えば、妨害信号の影響を受けるなどして、相手先
に到達しないなどのことが発生する場合もあると考えられる。こ
のため、この実施の形態において、各 LAN 端末装置は、自分か
ら送信したパケットが正常に相手先に送信されなかった場合、す
なわち、相手先において正常に受信されなかった場合には、その
パケットを再送信する。

図 7 は、この実施の形態において行われるパケットの再送信に
ついて説明するための図である。この場合にも、LAN 端末装置
2 から LAN 端末装置 4 へリアルタイムデータを送信するととも
に、LAN 端末装置 5 から LAN 端末装置 3 へリアルタイムデー
タを送信する場合を例にして説明する。

前述したように、L A N 端末装置 1 から先頭タイミング信号によりその先頭が示される各通信周期ごとに、先頭タイミング信号に含まれる自己に割り当てられた通信タイミングとに基づいて、
図 7 B、図 7 C に示すように、L A N 端末装置 2、L A N 端末装置 5 のそれぞれは、目的とする L A N 端末装置 4、L A N 端末装置 3 にパケット（リアルタイムデータ）を送信する。

そして、前述もしたように、各 L A N 端末装置は、先頭タイミング信号に含まれる各 L A N 端末装置に割り当てられた通信タイミングやパケットの長さなどに基づいて、リアルタイム領域の大きさを知ることができる。そして、L A N 端末装置 4 の L A N ユニット 4 2 は、L A N 端末装置 2 の L A N ユニット 2 2 からの呼び出し信号などに基づいて、本来送信されてくるはずのパケットがリアルタイム領域内において送信されてこなかった場合には、これを検出することができるようになっている。

そして、L A N ユニット 4 2 が、L A N ユニット 2 2 から本来送信されてくるはずのパケットが送信されてこなかったことを検出した場合には、自己宛てのパケットが送信されてくるはずのリアルタイム領域 R L と同じ通信周期に属するランダムアクセス領域 R M において、図 7 D に示すように、パケットが送信されてこないことを通知する不達通知を形成し、これを L A N ユニット 2 2 に送信する。

そして、自己宛ての不達通知を受信した L A N ユニット 2 2 は、即座にキャリア検出を行って、ランダムアクセス領域内において伝送路の空きを検出し、直前のリアルタイム領域において送信したパケットを再度、ランダムアクセス領域において再送する。このため、この実施の形態の L A N ユニット 2 2 は、少なくとも、1 通信周期ごとに、その通信周期のリアルタイム領域において送信したパケットを保持し、再送信に備えるようにしている。

このように、この実施の形態において、各通信周期内のリアルタイム領域において送信したパケットが正常に送信されなかった場合、すなわち、送信したパケットが、相手先において正常に受信されず、その相手先から不達通知が送信されてきた場合には、その受信されなかったべきリアルタイムデータは、同じ通信周期内のランダムアクセス領域において、ランダムアクセスにより再送信される。

したがって、リアルタイムデータを送信するパケットが正常に受信されなかった場合であっても、リアルタイムデータのリアルタイム性を害することなく、再送信することができるので、リアルタイムデータの品位品質を劣化させることもないようにすることができる。

[双方向の通信について]

前述の実施の形態においては、LAN端末装置2からLAN端末装置4へ、あるいは、LAN端末装置5からLAN端末装置3へというように、一方向にデータを送信する場合を例にして、この発明による通信方法、通信システム、通信端末について説明した。しかし、例えば、電話やテレビ電話などのように、双方向通信を行う場合にこの発明を適用することもできる。以下において、双方向通信の場合について説明する。

双方向通信を行う場合にも、図1、図2を用いて説明した、この実施の形態においてのLAN（ネットワーク）、ターミナル装置とLANユニットからなるLAN端末装置を用いるものとし、図1、図2をも参照しながら説明する。つまり、双方向の通信を行うといっても、図1、図2を用いて前述したLANやターミナル装置、LANユニットの構成が変わるものではない。

図8は、双方向通信を行う場合のこの実施の形態のLANに接続されたLAN端末装置の動作について説明するための図である。

この図 8 は、L A N 端末装置 2 と L A N 端末装置 4 との間で双方向通信を行う場合の例であり、L A N 端末装置 2 から L A N 端末装置 4 を呼び出す場合の例である。

5 L A N 端末装置 2 のターミナル装置 2 1 を通じて受け付けた使用者（ユーザ）からの L A N 端末装置 4 に対する通信要求（呼び出し要求）は、L A N ユニット 2 2 のコネクタ 2 0 4 を通じて L A N ユニット 2 2 のインターフェース部 2 0 3 に供給される。図 8 において最上段部分に示すように、インターフェース部 2 0 3 は、L A N 端末装置 4 への呼び出し信号を形成し、これを送受信部 2 0 2、アンテナ 2 0 1 を通じて、L A N 端末装置 4 に送信する。

15 L A N 端末装置 4 の L A N ユニット 4 2 は、アンテナ 2 0 1、送受信部 2 0 2 を通じて、自己宛ての呼び出し信号を受信すると、これをインターフェース部 2 0 3、コネクタ部 2 0 1 を通じて、ターミナル装置 4 1 に供給する。そして、ターミナル装置 4 1 は自己への呼び出し信号に応じて、例えば、ベルを鳴らしたり、ターミナル装置に設けられたあるいは接続されたディスプレイにメッセージを表示するなどして、呼び出しがあることをユーザに通知する。

20 ターミナル装置 4 1 に対してユーザが、L A N 端末装置 2 から供給された呼び出しに回答する操作を行うと、ターミナル装置 4 1 から L A N ユニット 4 2 に呼び出しに回答するようにする指示情報が供給される。この指示情報に基づいて、L A N ユニット 4 2 のインターフェース部 2 0 3 は、L A N ユニット 2 2 に返信する応答（応答情報）を形成し、これを送受信部 2 0 2、アンテナ 2 0 1 を通じて L A N 端末装置 2 の L A N ユニット 2 2 に送信する。

L A N 端末装置 2 の L A N ユニット 2 2 は、L A N 端末装置 4

のLANユニット42から応答を受けると、自己（LAN端末装置2）と、LAN端末装置4との双方に通信タイミングを割り当てるようにするための割り当て要求を形成し、これを制御局として動作するLAN端末装置1に対して送信する。

5 この割り当て要求に応じて、LAN端末装置1は、各通信周期内においての送出順序を通信タイミングとしてLAN端末装置2、4に割り当てる。この例において、LAN端末装置1は、呼び出し元のLAN端末装置2には各通信周期内の1番目にデータを送信するようにする通信タイミングを割り当てる。また、LAN
10 端末装置1は、相手先のターミナル装置4には各通信周期内の2番目にデータを送信するようにするデータ伝送タイミングを割り当てる。

そして、LAN端末装置1は、前述の1方向の通信の場合と同様に、予め決められた長さの通信周期の先頭ごとに、通信タイ
15 ミングを示す情報を含む先頭タイミング信号を、この実施の形態のLANに接続された複数のLAN端末装置の全部に送信する。

そして、LAN端末装置1からの先頭タイミング信号により、各LAN端末装置は、各通信周期の先頭と、各LAN端末装置に割り当てられた通信タイミングとを知り、各通信周期内において、
20 自己に割り当てられた通信タイミングで自己からのリアルタイムデータを送信するようにする。

したがって、図8に示すように、LAN端末装置1からの先頭タイミング信号が各LAN端末装置に送信された場合、通信タイ
ミングとして、通信周期内の第1番目にリアルタイムデータを送
25 信するように送出順序が割り当てられたLAN端末装置2のLANユニット22から、各通信周期内において、先頭直後の第1番目のタイミングで音声データなどのリアルタイムデータがLAN端末装置4に送信される。

また、通信タイミングとして、通信周期内の 2 番目にリアルタイムデータを送信するように送出順序が割り当てられた LAN 端末装置 4 の LAN ユニット 4 2 から、各通信周期内において、LAN 端末装置 2 の次のタイミングである第 2 番目のタイミングで音声データなどのリアルタイムデータが LAN 端末装置 2 に送信される。

そして、LAN 端末装置 4 においては、LAN 端末装置 2 からのリアルタイムデータである音声データがリアルタイムに再生されて聴取することができるようにされ、LAN 端末装置 2 においては、LAN 端末装置 4 からのリアルタイムデータである音声データがリアルタイムに再生されて聴取することができるようにされる。

そして、図 8 に示すように、各通信周期毎に通信管理装置としての LAN 端末装置 1 から供給される先頭タイミング信号に基づいて、LAN 端末装置 2 と、LAN 端末装置 4 との間で、交互に音声データなどのリアルタイムデータの送受が、各通信周期のリアルタイムにおいて繰り返すようにされ、リアルタイムに通話を行うことができるようにされる。

また、この例の LAN 端末装置 2、LAN 端末装置 4 以外の通信端末も、通信タイミングの割り当てを受けることにより、リアルタイム領域において、リアルタイムデータの送受を行うことができるようにされる。また、コンピュータデータなどのランダムデータは、前述の単一方向の通信の場合と同様に、各通信周期内のランダムアクセス領域において、ランダムアクセスにより送信するようにすることができる。

また、この双方向の場合にも、リアルタイム領域で送信したリアルタイムデータが、正常に送信できなかった場合には、そのリアルタイム領域の後のランダムアクセス領域において再送信する

ことにより、リアルタイムデータを確実に送信することができる。

このリアルタイムデータの再送信は、前述の一方向の通信の場合と同様に、LAN端末装置2から送信されてくるはずのパケットが送信されてこないことをLAN端末装置4が検出したときに、LAN端末装置4がLAN端末装置2に受信するはずのリアルタイムデータが受信できなかったリアルタイム領域の直後のランダムアクセス領域において不達通知を送信するようにする。

LANユニット2は、例えば、直前のリアルタイム領域において送信したリアルタイムデータ（パケット）を保持するようにしておき、不達通知を受信した場合に、その直前のリアルタイム領域で送信した現在保持しているリアルタイムデータ（パケット）を再送信するようにすればよい。

このように、双方向に通信を行う場合であっても、割り当てられた通信タイミングでリアルタイムデータを送信するためのリアルタイム領域と、ランダムデータを送信するためのランダムアクセス領域とを設けることによって、リアルタイムデータをリアルタイム性を損なうことなく確実に送受することができるようにすることができる。また、ランダムデータもランダムアクセス領域において送受することができる。

また、リアルタイムデータを送信しようとする場合であっても、ランダムデータを送信しようとする場合であっても、キャリア検出を行って、伝送路の使用の衝突を回避することができるので、例えば、ランダムアクセスしか行わないLAN端末装置が接続された場合であっても、その装置と共存することができる。これは、前述した一方向の通信の場合にも言える。

なお、前述の第1の実施の形態においては、通信タイミングを割り当てることによりリアルタイム領域を順次に通信周期中に設

定し、リアルタイム領域が設定された通信周期中の残りの部分をランダムアクセス領域となるようにしたがこれに限るものではない。

1 通信周期中においてのリアルタイム領域と、ランダムアクセス領域の割合を予め設定するようにしてもよい。例えば、1 通信周期の 3 分の 2 をリアルタイム領域、1 通信周期の 3 分の 1 をランダムアクセス領域というように予め設定するようにしてもよい。また、リアルタイム領域とランダムアクセス領域とを 1 通信周期中に交互に設定するようにすることともできる。

また、前述の実施の形態においては、L A N 端末装置 1 が通信管理装置（制御局）として動作するものとして説明した。しかし、通信管理装置は、例えば、どの L A N 端末装置にも電源が投入されておらず、ネットワークに L A N 端末装置が接続されていない状態のときに、最初に電源を投入して、最初にネットワークに接続するようにした L A N 端末装置を通信管理装置とし動作させるようにしてもよい。

この場合、同じネットワークに接続される複数の L A N 端末装置としての通信端末のそれぞれは、通信管理装置としての機能を備え、通信管理装置として動作することができるようにしておけばよい。もちろん、通信管理装置となった L A N 端末装置自身も、データの送受を行うこともできるようにされる。

これは、前述した実施の形態においても同じであり、通信管理装置として動作する L A N 端末装置 1 は、自分からリアルタイムデータやランダムデータを送信したり、双方向にデータを送受し合うことができるものである。この場合には、例えば、L A N 端末装置 1 が、自分自身で自分自身の通信タイミングを設定し、他の通信端末に通知するようにすればよい。

また、通信管理装置としてのみ動作する専用サーバ装置をネッ

トワーク中に設け、この専用の通信管理装置によって、複数の通信御端末の通信を制御するようにしてもよい。

また、通信を行おうとする通信端末自身が、自分自身で自己に通信タイミングを割り当て、この割り当てた通信タイミングを、
5 同じLANに接続された複数の通信端末のそれぞれに通知して、自己の通信タイミングを確定するようにすることもできる。この場合には、通信周期の先頭は、各通信端末のそれぞれが共通の時間を管理するようにし、この共通の時間を基準として通信周期を特定するようにしたり、ネットワークへの接続時において、通信
10 周期について各通信端末との間で同期をとるようにするなど、各種の方法を用いることができる。

〔第2の実施の形態〕

前述の第1の実施の形態においては、各LAN端末装置が、キャリア検出によって伝送路の使用の衝突を回避しながらも、キャリアが存在しないときには、各LAN端末装置ごとに通信周期内に
15 定期的に予め割り当てられる送信タイミングでリアルタイムデータを送信し、また、各通信周期内において、送信タイミングが割り当てられていない区間において、ランダムアクセスを行う方法を説明した。

しかし、第1の実施の形態において説明した方法では、伝送路に妨害信号が混入するなどして、割り当てられた送信タイミングでパケットを送信できないLAN端末装置が発生すると、そのLAN
20 端末装置以降のLAN端末装置間で、伝送路の使用の衝突を完全に防止できない場合がある。

図1を用いて前述した第1の実施の形態のLANシステムにおいて、例えば、図9に示すように、LAN端末装置2には、通信周期内の1番目の送信タイミングであるタイミングt1が割り
25 当てられ、LAN端末装置5には、通信周期内の2番目の送信タイ

ミングであるタイミング t_2 が割り当てられたとする。

この図 9 に示す例の場合には、キャリアが検出されず、伝送路が空いている場合には、LAN 端末装置 2 の LAN ユニット 22 からは、図 9 B に示すように、各通信周期のタイミング t_1 においてパケットが送出され、LAN 端末装置 5 の LAN ユニット 52 からは、図 9 B に示すように、各通信周期のタイミング t_2 においてパケットが送出される。

しかし、図 10 に示すように、先頭タイミング信号（図 10 A）が送出された直後において、伝送路に妨害信号（図 10 B）が混入してしまった場合には、LAN 端末装置 2 の LAN ユニット 22 は、キャリア検出により、伝送路が空いていないことを検知するので、伝送路が空くまで待ち状態となる。

そして、LAN ユニット 22 において、伝送路の空きが検出され、パケットを送信しようとした時点が、図 10 C、D に示すように、LAN 端末装置 5 に割り当てられた送信タイミング t_2 と同じタイミングになってしまった場合には、LAN 端末装置 2 から送出されるパケットと、LAN 端末装置 5 から送出されるパケットとが衝突してしまう。

また、この図 10 の例の場合には、少しのタイミングのずれで、LAN 端末装置 5 からのパケットが、LAN 端末装置 2 からのパケットよりも早く伝送路に送出されてしまい、パケットの送出順序が乱れてしまう可能性がある。この場合には、リアルタイムデータの適正な送受が行えなくなる。

そこで、この第 2 の実施の形態においては、伝送路の使用の衝突を確実に防止し、複数の LAN 端末装置からのパケットの送出順序を適正に保つことによって、リアルタイムデータを確実に送受することができるようにしている。以下、この第 2 の実施の形態について詳細に説明する。

図 1 1 は、この第 2 の実施の形態の L A N の構成を説明するため図である。この第 2 の実施の形態の L A N もまた、図 1 を用いて前述した第 1 の実施の形態の場合の L A N システムと同様に、サーバ専用機を有さず、ネットワークに接続された各通信装置が
5 すべて同じ地位にあるようにされる、いわゆる P e e r T o
 P e e r L A N の構成とされている。

そして、各 L A N 端末装置 1 ～ 5 は、前述した第 1 の実施の形態の L A N 端末装置 1 ～ 5 と同様に、パーソナルコンピュータなどのターミナル装置 1 1、2 1、3 1、4 1、5 1 と、各ターミ
10 ナル装置に対応して、この実施の形態の通信端末である無線通信
 ユニット（L A N ユニット）1 3、2 3、3 3、4 3、5 3 とが
 設けられたものである。

これら L A N 端末装置 1 ～ 5 により形成されるこの第 2 の実施の形態の L A N システムは、前述した第 1 の実施の形態の L A N
15 システムと同様に、各 L A N 端末装置 1 ～ 5 が、予め決められた
 周波数の搬送波を用い、1 つの伝送路を共用して、パケット伝送
 により各種のデータを伝送する。

このため、この第 2 の実施の形態においても、後述もするが、各 L A N 端末装置に接続される L A N ユニット 1 3、2 3、3 3
20 、4 3、5 3 のそれぞれは、パケットの送信に先立って、キャリア
 検出を行うことにより、伝送路の使用の衝突を回避することができるものである。

図 1 2 は、この第 2 の実施の形態の L A N ユニット 1 3、2 3、3 3、4 3、5 3 を説明するためのブロック図である。すなわ
25 ち、この第 2 の実施の形態において、L A N ユニット 1 3、2 3、3 3、4 3、5 3 のそれぞれは、図 1 2 に示す構成を有している。

図 1 2 に示すように、この第 2 の実施の形態の L A N ユニット

1 3、2 3、3 3、4 3、5 3のそれぞれは、アンテナ 3 0 1、無線信号の受信部 3 0 2、無線信号の送信部 3 0 3、キャリア空き時間検出部（図 1 2 においては、空き時間検出部と記載。） 3 0 4、インターフェース部 3 0 5、コネクタ 3 0 6、CPU 3 1 1、ROM 3 1 2、RAM 3 1 3、バス 3 1 4を備えたものである。

バス 3 1 4を通じて接続されたCPU 3 1 1と、ROM 3 1 2と、RAM 3 1 3とは、この第 2 の実施の形態のLANユニットの制御部 3 1 0を構成する。ここで、CPU 3 1 1は、中央演算処理装置、ROM 3 1 2は、プログラムが記憶された読み出し専用メモリ、RAM 3 1 3は、作業領域などとして用いられる一時記憶用のランダムアクセスメモリである。

制御部 3 1 0は、前述した第 1 の実施の形態のLANユニットの制御部 2 1 0と同様に、バス 3 1 4を通じて、受信部 3 0 2、キャリア空き時間検出部 3 0 4、インターフェース部 3 0 5と接続され、これらを制御することができるものである。また、制御部 3 1 0は、後述する受信部 3 0 2が受信したデータのうち必要なデータを受信部 3 0 2から取得したり、インターフェース部 3 0 5を通じて、ターミナル装置からの制御情報の供給を受けることができるものである。

受信部 3 0 2は、アンテナ 3 0 1を通じて受信した受信パケットを復調してインターフェース部 3 0 5に供給したり、復調した受信パケットからLANユニットの制御に必要なデータなどを抽出して制御部 3 1 0に供給するものである。また、送信部 3 0 3は、インターフェース部 3 0 5からの送信データの供給を受けて、これを変調し、アンテナ 3 0 1を通じて伝送路に送出するものである。

キャリア空き時間検出部 3 0 4は、受信電力を監視することに

より伝送路上の無線信号の有無を検出するようにし、伝送路上に一定時間以上の空きを検出したときに送信部 3 0 3 を制御して、送信パケットを送信するようにするものである。すなわち、キャリア空き時間検出部 3 0 4 は、送信パケットの送信タイミングを制御するデータ送出制御手段としての機能を有するものである。

また、インターフェース部 3 0 5 は、前述した第 1 の実施の形態の LAN ユニットのインターフェース部 2 0 2 と同様に、ターミナル装置と、この第 2 の実施の形態の LAN（ネットワーク）との間でデータのやり取りを可能にするためのものであり、送信パケットの生成や受信パケットの分解などを行う機能を有するとともに、ターミナル装置からの制御情報を制御部 3 1 0 に供給することができるものである。また、コネクタ 3 0 6 は、LAN ユニットとターミナル装置とを接続するためのものである。

このように、ターミナル装置と LAN ユニットからなるこの第 2 の実施の形態の LAN 端末装置間でデータを送受する場合の動作を説明する。まず、ランダムアクセスによりデータを無線伝送する場合の動作を、図 1 1 において、LAN 端末装置 2 から LAN 端末装置 4 へデータを無線伝送する場合を例にして説明する。

図 1 1 において、LAN 端末装置 2 から LAN 端末装置 4 へランダムアクセスによりデータを送信する場合には、まず、ターミナル装置 2 1 から LAN ユニット 2 3 に対して送信指示および LAN 端末装置 2 のアドレス（自己 ID）と、送信先のアドレス（送信先 ID）などの必要な情報が付加された送信データが供給される。

LAN ユニットに供給された送信指示は、インターフェース部 3 0 5 を通じて制御部 3 1 0 に供給される。制御部 3 1 0 は、送信指示が供給されると、インターフェース部 3 0 5 を制御して、ターミナル装置 2 1 からの送信データに応じた送信パケットを形

成させる。

同時に、制御部 3 1 0 は、伝送路の使用の衝突を回避するために、送信パケットの送信に先立って確認するようにする（確保するようにする）伝送路上のキャリア空き時間を指定する。こキャリアの空き時間は、L A N ユニットからのパケットの送出直前に、先に伝送路上に送出されたパケットの送信終了時点と、当該 L A N ユニットから送出するパケットとの間の時間間隔を示すものである。このキャリア空き時間が短いほど、他の L A N 端末装置から先に伝送路に送出されたパケットの直後に自機からのパケットの送出が可能となる。

そして、キャリア空き時間検出部 3 0 4 は、前述もしたように、受信電圧を監視することにより、伝送上の空きを検出し、先に送出されたパケットの送出終了時点から、伝送路が空いている時間をカウントし、上述のように、制御部 3 1 0 により設定された空き時間分の空きを検出した場合には、伝送路は空いている状態であると判断し、送信部 3 0 3 を制御して、インターフェース部 3 0 5 において形成した送信パケットを送信部 3 0 3、アンテナ 3 0 1 を通じて伝送路に送出する。これにより、L A N 端末装置 2 からの送信パケットが、L A N 端末装置 4 に送信される。

L A N 端末装置 4 の L A N ユニット 4 3 は、自機のアドレスを送信先 I D として有するパケットのみを受信し、これを L A N ユニット 4 3 のインターフェース部 3 0 5 に供給する。インターフェース 3 0 5 は、受信部 3 0 2 からの受信パケットを分解し、コンピュータデータなどの主情報をコネクタ 3 0 6 を通じてターミナル装置 4 1 に供給する。これにより、L A N 端末装置 2 からのデータが、L A N 端末装置 4 に供給され、L A N 端末装置 4 の L A N 端末装置 4 1 において利用可能となる。

このように、パケットの送信に先立って、キャリア検出を行う

ので、ランダムな待ち時間を要する場合があるものの、コンピュータデータなどのランダムデータの送信は全く問題なく行うことができる。しかし、このままでは、音声や動画像などの定期的な伝送を行わなければならないリアルタイムデータの伝送を行うことができない。また、図 9、図 10 を用いて前述したように、送出タイミングを固定的に割り当てただけでは、伝送路の使用の衝突を確実に防止することができない場合がある。

そこで、この第 2 の実施の形態においては、リアルタイムデータを送出する LAN 端末装置に対してリアルタイムデータを送出する通信順位を予め割り当て、パケット送出時には伝送路の空きを検出しながらも、予め割り当てられた通信順位に応じた通信順序を乱すことなくリアルタイムデータのパケットを送出できるようにしている。

また、前述もしたように、伝送路の空きを確認するための空き時間を最小にするように、常に自己の通信順位よりも前のパケットの送出状況を確認するとともに、パケットの送出状況に応じて、自己のパケットの送出タイミングを自動調整できるようにしている。

このようにすることによって、音声や動画像などのリアルタイムデータをパケット伝送する場合においても、伝送路上に他の通信機器や雑音源などがある場合には、伝送路の使用の衝突が発生しないように、それらを避けながらパケットを送出し、かつ、伝送路の使用の衝突を回避した後においても、リアルタイムデータを適正に伝送するため、パケットの通信順位が前後してしまい通信順位に応じた通信順序が乱れることがないように、常に最適なタイミングでパケットの送出を実現している。

次に、この第 2 の実施の形態において、音声や動画像などのリアルタイムデータをパケット伝送する場合の動作について説明す

る。以下においては、図 1 1 において矢印が示すように、L A N 端末装置 2 から L A N 端末装置 4 へ、L A N 端末装置 3 から L A N 端末装置 2 へ、L A N 端末装置 5 から L A N 端末装置 3 へ、それぞれリアルタイムデータの送信が要求がある場合を例にして説明する。

また、この第 2 の実施の形態においても、前述した第 1 の実施の形態の場合と同様に、L A N 端末装置 1 は、制御局として動作し、リアルタイムデータを送出しようとする L A N 端末装置からの要求に応じて、リアルタイムデータの通信順位を割り当てるとともに、割り当てた通信順位を先頭タイミング信号に含めて送信することにより、各 L A N 端末装置にリアルタイムデータの通信順位を通知するようにしている。

なお、制御局として動作する L A N 端末装置 1 から送出される先頭タイミング信号は、前述した第 1 の実施の形態の場合と同様に、予め決められた長さの通信周期の先頭を示す信号であり、各 L A N 端末装置から送出されるパケットの長さを示す情報をも含むものである。

従って、各 L A N 端末装置は、L A N 端末装置 1 からの先頭タイミング信号を受信することにより、受信した L A N 端末装置が、リアルタイムデータの通信順位の割り当て要求を送出したものである場合には、自己に割り当てられた通信順位を知ることができる。

また、各 L A N 端末装置は、L A N 端末装置 1 からの先頭タイミング信号に含まれる各 L A N 端末装置に割り当てられた通信順位と、リアルタイムデータの packets 長を示す情報とにより、1 通信周期内のリアルタイム領域 R L と、1 通信周期内のリアルタイム領域 R L 以外のランダムアクセス領域 R M との範囲を明確に知ることができるようにされている。

そして、ターミナル装置 2 1 から L A N 端末装置 4 への接続要求（リアルタイムデータの送信要求）を受けた L A N ユニット 2 3 は、前述した第 1 の実施の形態の場合と同様に、ランダムアクセスにより、通信順位の割り当て要求を制御局として動作する L A N 端末装置 1 に送信する。

L A N 端末装置 1 は、L A N 端末装置 2 からの通信順位の割り当て要求に応じて、この第 2 の実施の形態においては、L A N 端末装置 2 に対して、1 番目のリアルタイムデータの通信順位を割り当て、割り当てた通信順位や L A N 端末装置 2 から送出されるリアルタイムデータの packets 長を示す情報などを先頭タイミング信号に含めて送信する。

この先頭タイミング信号を受信することにより、L A N 端末装置 2 は、自己に割り当てられた通信順位（1 番目）を知り、L A N 端末装置 2 以外の各 L A N 端末装置は、L A N 端末装置 2 に何番の通信順位が割り当てられたかを知る。同様に、L A N 端末装置 3、L A N 端末装置 5 に対しても、そのそれぞれからの通信順位の割り当て要求に応じて、この第 2 の実施の形態においては、L A N 端末装置 3 には 2 番目、L A N 端末装置 5 には 3 番目の通信順位が割り当てられ、先頭タイミング信号に含めて、各 L A N 端末装置に通知される。

そして、この例の L A N 端末装置 2、3、5 は、先頭タイミング信号を基準として、自己に割り当てられた通信順位に応じて packets の送出を行う。つまり、リアルタイムデータを送信しようとする各 L A N 端末装置のそれぞれは、先頭タイミング信号により通知される通信順位と、各 L A N 端末装置から送出される packets の長さ（packets 長）とに基づいて、各通信周期内において、自己が packets を送出するタイミングを知ることができるので、割り当てられた通信順位に応じた packets の送出が可能となる

。

この場合、前述したように、パケットの送出に先立って、伝送路の空きを検出するものの、最小の間隔でパケットを送出することができるために確実なパケットの伝送が可能である。また、通信順位の割り当てのないタイミング、すなわち、リアルタイムデータの送信タイミングが割り当てられていない区間は、ランダムアクセス領域として使用可能であり、ランダムアクセスのみを行うような他の通信機器との共存が可能である。

また、万が一通信順位が割り当てられているリアルタイム領域に他の通信機器のランダムデータが割り込んだとしても伝送路の空き検出により衝突がさけられ、その後の最小間隔、すなわち、割り込みデータが伝送路から消滅した場合には、消滅から最小の間隔でパケットの送出を行うことができる。

そして、この第2の実施の形態においては、さらに、通信順位が割り当てられた各LAN端末装置において、自己に割り当てられた通信順位に応じて、パケットの伝送路への送出に先立って、確保するようにされる伝送路のキャリア空き時間を変えることにより、伝送路に妨害信号が混入したために、本来のタイミングでパケットを送出することができないLAN端末装置が発生しても、通信順位が変わってしまうことがないようにしている。

図13は、パケットの送出に先立って、伝送路上に確保するキャリア空き時間の設定について説明するための図である。この第2の実施の形態の例においては、通信順位が1番目のLANユニット23では50 μ 秒、通信順位が2番目のLANユニット33では100 μ 秒、通信順位が3番目のLANユニットでは150 μ 秒というように、通信順位が後になるにしたがって、確保するようにする伝送路上のキャリア空き時間を長くする。

このキャリア空き時間は、前述もしたように、また、図13に

示すように、パケットを送出しようとする直前に伝送路上に存在したパケットや妨害信号などの送出終了時点 e d からの伝送路の空き時間である。したがって、割り当てられた通信順位に応じて、伝送路上に確保するキャリア空き時間を変えることにより、このキャリア空き時間自体が、リアルタイムデータをパケット伝送する際のパケット送出の優先順位を示す情報となる。

図 1 3 に示した例の場合、LAN ユニット 2 3 は、パケットを送出しようとする直前に伝送路上に存在したパケットや妨害信号などの送出終了時点 e d から 5 0 μ 秒後のタイミング T 1 において、パケットを送出することができるようにされる。また、タイミング T 1 において、LAN ユニット 2 3 から何らかの原因によりパケットが送出されなかったときには、直前のパケットや妨害信号の送出終了時点 e d から 1 0 0 μ 秒後のタイミング T 2 において、LAN ユニット 3 3 は、パケットを送出することができるようにされる。

同様に、タイミング T 1 において、LAN ユニット 2 3 から何らかの原因によりパケットが送出されず、かつ、タイミング T 2 において、LAN ユニット 3 3 から何らかの原因によりパケットが送出されなかったときには、直前のパケットや妨害信号の送出終了時点 e d から 1 5 0 μ 秒後のタイミング T 3 において、LAN ユニット 5 3 は、パケットを送出することができるようにされる。

したがって、通信順位が早い LAN 端末装置の障害などにより、リアルタイムデータを送信するためのパケットが送信されなかった場合には、その後続く通信順位の LAN 端末装置がパケットを送信することができるようにされ、効率よくパケットを送信することができる。

このキャリア空き時間の設定は、受信部 3 0 2 を通じて先頭タ

イミング信号を受信し、自己に割当ら得た通信順位を検知した LAN ユニットの制御部 310 により、キャリア空き時間検出部 304 に対して行われる。そして、キャリア空き時間検出部 304 は、前述したようにキャリア検出を行って、伝送路の空きを検出すると伝送路の空きの持続時間をカウントし、このカウント値が設定された空き時間（設定値）に一致した場合に、送信部 303 に対して送信指示を供給する。

したがって、伝送路の空き時間のカウント中に例えば妨害信号が伝送路に混入するなどして、伝送路が使用できなくなった場合には、それまでのカウント値はクリアされ、その妨害信号の消滅後、伝送路の空きを確認した場合にはじめからカウントが繰り返される。すなわち、キャリア空き時間検出部 304 は、伝送路上の連続する空き時間が検出する。

しかしながら、このままでは、通信順位が 1 番目の LAN ユニット 23 からパケットが正常に送信された場合、そのパケットの送信終了時点からすくなくとも 100 μ 秒、妨害信号などが混入していた場合には、その妨害信号の送出終了時点から 100 μ 秒後でなければ LAN ユニット 33 はリアルタイムデータを送信するためのパケットを送信することができなくなり、全体的な通信容量の減少につながってしまう。

そこで、この第 2 の実施の形態の LAN ユニットにおいては、伝送路に送出されたすべてパケットを監視し、自己よりも通信順位の早い LAN ユニットからのパケットが正常に送信された場合には、自己のキャリア空き時間検出部 304 に設定したキャリア空き時間を短縮する。この場合、自己の通信順位を 1 つ繰り上げた場合の通信順位に応じた空き時間に短縮する。

図 14 は、自己に割り当てられた通信順位に応じて、キャリア空き時間検出部 304 に設定したキャリア空き時間の短縮処理に

ついて説明するための図である。図 1 3 を用いて前述したように、先頭タイミング信号によって通知される通信順位に応じて、L A N ユニット 2 3 には、5 0 μ 秒の空き時間、L A N ユニット 3 3 には、1 0 0 μ 秒の空き時間、L A N ユニット 5 3 には、1 5 0 μ 秒のキャリア空き時間が設定された場合について説明する。

L A N ユニット 2 3 のキャリア空き時間検出部 3 0 4 には、確保するようにする伝送路の空き時間（キャリア空き時間）は、5 0 μ 秒と設定されるので、伝送路に妨害信号などが混入しなかった場合には、L A N ユニット 2 3 からは図 1 4 B に示すように、先頭タイミング信号（図 1 4 A）の送信終了時点から 5 0 μ 秒間の伝送路の空きが検出されたタイミング T 1 においてパケットが送出される。

そして、各 L A N 端末装置の L A N ユニットから送出されるパケットには、前したように送信元の L A N ユニットのアドレス（送信元 I D）、目的とする送信先のアドレス（送信先 I D）が含まれている。このため、この第 2 の実施の形態の L A N システムに接続された各 L A N 端末装置の L A N ユニットにおいては、受信部 3 0 2 により受信したパケットから送信元を示す情報を抽出し、この抽出した情報と、先頭タイミング信号によって通知される各 L A N 端末装置に割り当てられた通信順位をも考慮することによって、通信順位が何番目の L A N ユニットからパケットが送信されたかを知ることができる。

そして、自己に割り当てられた通信順位よりも早い L A N ユニットからパケットが送信されたことを検知したときには、その通信周期内においての自己の通信順位が上がることになり、自己のキャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定したキャリア空き時間を短縮する。

つまり、図 1 4 B に示したように、L A N ユニット 2 3 からパ

ケットが送信された場合には、LANユニット 33 は、自己の制御部 310 の制御によりキャリア空き時間検出部 304 に対して設定したキャリア空き時間を、図 14 C に示すように、100 μ 秒から 50 μ 秒に短縮する。同様に、LANユニット 53 は、自己の制御部 310 の制御によりキャリア空き時間検出部 304 に対して設定したキャリア空き時間を、図 14 D に示すように、150 μ 秒から 100 μ 秒に短縮する。

そして、図 14 C に示すように、LANユニット 33 は、LANユニット 23 からのパケット送出終了後、50 μ 秒間、伝送路に妨害信号などが混入しなければ、LANユニット 23 からのパケット送出終了後 50 μ 秒経過後のタイミング T1 においてパケットを送出する。この場合には、LANユニット 53 は、自己の制御部 310 の制御によりキャリア空き時間検出部 304 に対して設定したキャリア空き時間を、図 14 E に示すように、100 μ 秒から 50 μ 秒に短縮する。

これにより、LANユニット 53 は、LANユニット 33 からのデータ送出後であって、妨害信号などの伝送路への混入がなければ、図 14 (E) に示すように、LANユニット 33 からのパケット送出終了後、50 μ 秒経過後のタイミング T1 においてパケットの送出ができるようにされる。

これにより、各 LANユニットのそれぞれは、リアルタイムデータを送信する場合には、予め決められた通信順位が乱れることを防止し、リアルタイムデータを確実に伝送することができる。また、各 LANユニットからは、直前のパケットの送出終了から 50 μ 秒という短い時間で自己のパケットを送出することができるので、迅速に、かつ、効率よくリアルタイムデータを送出することができる。

次に、各 LANユニットにおいて行われる通信順位に応じた空

き時間の設定および設定処理した空き時間の短縮処理、および、パケットの送出制御処理について、図 1 5、図 1 6 のフローチャートを用いて説明する。

図 1 5 は、通信順位の割り当て要求を送出した L A N 端末装置の L A N ユニットにおいて実行される自己に割り当てられた通信順位に応じた空き時間の設定処理および設定した空き時間の短縮処理について説明するためのフローチャートである。

リアルタイムデータを送信するため、通信順位の割り当て要求を送出した L A N ユニットは、図 1 5 に示す処理を実行する。まず、L A N ユニットの制御部 3 1 0 は、受信部 3 0 2 を通じて制御局から送信される先頭タイミング信号を受信したか否かを判別する（ステップ S 2 0 1）。ステップ S 2 0 1 の判別処理において、先頭タイミング信号を受信していないと判別したときには、このステップ S 2 0 1 の判別処理を繰り返し、先頭タイミング信号を受信するまで待つ。

ステップ S 2 0 1 の判別処理において、先頭タイミング信号を受信したと判別したときには、制御部 3 1 0 は、受信部 3 0 2 を制御し、受信部 3 0 2 により受信された先頭タイミング信号から通信順位を示す情報を抽出する（ステップ S 2 0 2）。

そして、制御部 3 1 0 は、先頭タイミング信号から抽出した自己に割り当てられた通信順位に応じたキャリア空き時間をキャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定する（ステップ S 2 0 3）。すなわち、図 1 3 を用いて前述したように、このステップ S 2 0 3 の処理は、自己に割り当てられた通信順位が 1 番目の場合には、キャリア空き時間は 5 0 μ 秒と、通信順位が 2 番目の場合には、キャリア空き時間は 1 0 0 μ 秒というように、通信順位に応じたキャリア空き時間をキャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定する処理である。

5 なお、ステップ S 2 0 2 においては、受信部 3 0 2 は、自己に割り当てられた通信順位を示す情報だけでなく、通信順位割り当て要求元の他の L A N 端末装置に割り当てられた通信順位や、他の L A N 端末装置が送出しようとしているリアルタイムデータの
10 パケット長を示す情報などについても抽出して制御部 3 1 0 に供給する。

15 これにより、制御部 3 1 0 は、同じ通信路を共用する L A N 端末装置の何台がリアルタイムデータを送出しようとしており、また、それらの L A N 端末装置から送出されるリアルタイムデータの
20 パケット長をも知ることができるので、1 通信周期内において、リアルタイム通信を行うリアルタイム領域 R L と、ランダムアクセス領域 R M とを明確に区別することができるようにされる。

25 なお、この第 2 の実施の形態においては、ステップ S 2 0 3 の処理により、キャリア空き時間検出部 3 0 4 にキャリア空き時間が設定されると、詳しくは後述もするように、キャリア空き時間
30 検出部 3 0 4 は、伝送路の空きを検出し、その空きの時間をカウントしながら、このカウント値と設定されたキャリア空き時間とに基づいて、パケットの送信制御処理が、この図 1 5 に示す処理
35 とは別に開始されることになる。

40 そして、この図 1 5 に示す処理においては、ステップ S 2 0 3 の処理により、キャリア空き時間検出部 3 0 4 にキャリア空き時間が設定されると、この第 2 の実施の形態においては、制御部 3
45 1 0 は、キャリア空き時間検出部 3 0 4 のキャリア検出の結果に基づいて、パケットやノイズなどの妨害信号を含め、何らかの電波が伝送路上に送出されているか判別する（ステップ S 2 0 4）
50 。

55 ステップ S 2 0 4 の判別処理により、伝送路に電波が送出されていないと判別したときには、後述するキャリア空き時間の短縮

処理を行う必要はないので、ステップ S 2 0 4 からの処理を繰り返す。また、ステップ S 2 0 4 の判断処理において、伝送路上に何らかの電波が送出されていると判別したときには、制御部 3 1 0 は、受信部 3 0 2 の受信結果に基づいて、伝送路に送出されている電波は、同じ伝送路を共用する他の L A N 端末装置からのパケットか否かを判別する（ステップ S 2 0 5）。

ステップ S 2 0 5 の判別処理において、伝送路上に送出されている電波が、ノイズや他の電子機器からの信号などのいわゆる妨害信号であると判別したときには、後述するキャリア空き時間の短縮処理を行う必要はないので、ステップ S 2 0 4 からの処理を繰り返す。

また、ステップ S 2 0 5 の判別処理において、伝送路に送出されている電波は、同じ伝送路を共用する他の L A N 端末装置からのパケットであると判別したときには、受信部 3 0 2 により受信されたそのパケットに含まれる情報に基づいて、どの L A N ユニットのパケットかを認識する（ステップ S 2 0 6）。

そして、ステップ S 2 0 6 において、認識した情報と、先頭タイミング信号により提供される通信順位割り当て要求元のすべての L A N 端末装置に割り当てられた通信順位に基づいて、次にパケットを送出する順番は、自己（自ノード）であるか否かを判別する（ステップ S 2 0 7）。

ステップ S 2 0 7 の判別処理において、次にパケットを送出する順番が、自ノードではないと判別したときには、現在、伝送路に送出されている通信順位が自ノード以前の L A N ユニットのパケットの送出が終了したか否かを判別する（ステップ S 2 0 8）。この判別は、伝送路に送出されているパケットを受信部 3 0 2 が受信し、その内容を調べることにより得られる情報に基づいて行うことができる。

ステップ S 2 0 8 に判別処理において、通信順位が自ノード以前の L A N ユニットからのパケットの送出が終了して以内と判別したときには、ステップ S 2 0 8 の処理を繰り返し、そのパケットの伝送路への送出が終了するまで待ち状態となる。

5 ステップ S 2 0 8 の判別処理において、通信順位が自ノード以前の L A N ユニットからのパケットの送出が終了したと判別したときには、コントロール部 3 1 0 は、キャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定したキャリア空き時間を、自己に割り当てられた通信順位を 1 つ繰り上げた場合のキャリア空き時間に変更する（ステップ S 2 0 9 ）。

10 つまり、このステップ S 2 0 9 の処理は、1 通信周期内において、通信順位が先の L A N ユニットからのパケットの送出が終了したのを受けて、キャリア空き時間を短縮することにより、その通信周期内においての、パケットの送出の優先タイミングを繰り上げる処理である。そして、ステップ S 2 0 9 のキャリア空き時間の短縮処理が終了すると、制御部 3 1 0 は、ステップ S 2 0 4 からの処理を繰り返すようにする。

15 また、ステップ S 2 0 7 の判断処理において、次にパケットを送出する順番が、自ノードであると判別したときには、その時点において、パケットの送出について、最先の優先タイミングを有しているのは、自己（自ノード）であるので、この図 1 5 に示す処理を終了し、リアルタイムデータの送信が終了していない場合には、この図 1 5 に示す処理が繰り返され、次の通信周期においても、同様の処理が行われる。

20 このようにして、この第 2 の実施の形態においては、通信順位の割り当てを受け、割り当てられた通信順位に応じたキャリア空き時間の設定および短縮処理が行われる。

25 図 1 6 は、図 1 5 に示したステップ S 2 0 3 において、キャリ

ア空き時間が設定されたキャリア空き時間検出部 3 0 4 において行われるパケットの送出制御処理を説明するためのフローチャートである。

キャリア空き時間検出部 3 0 4 は、上述したように、制御部 3 1 0 により自己に割り当てられた通信順位に応じたキャリア空き時間が設定されると、キャリア検出により伝送路が空いていると検出した場合に、伝送路の空き時間のカウンタを開始し、このカウンタ値と、設定されたキャリア空き時間とを比較して、設定したキャリア空き時間分の伝送路の空きを検出したか否かを判別する（ステップ S 3 0 1）。

この第 2 の実施の形態においては、伝送路の空き時間のカウンタ開始後、妨害信号などが混入するなどした場合には、カウンタ値はクリアされ、再度、伝送路に空きを検出した場合に、はじめから空き時間のカウンタが行われる要にされる。

そして、設定されたキャリア空き時間分の伝送路の空きを検出するまで、ステップ S 3 0 1 の処理を繰り返し、ステップ S 3 0 1 の判別処理において、キャリア空き時間検出部 3 0 4 が、設定されたキャリア空き時間分の伝送路の空きを検出したと判別すると、キャリア空き時間検出部 3 0 4 は、送信部 3 0 3 に対して、リアルタイムデータのパケットの送信を指示する制御信号を供給し、送信部 3 0 3 からリアルタイムデータのパケットの送出を実行する（ステップ S 3 0 2）。

このように、リアルタイムデータを送信しようとする LAN 端末装置は、前述した第 1 の実施の形態の場合と同様にして、制御局に対してパケットの通信順位の割り当て要求を送信しする。そして、リアルタイムデータを送出しようとする LAN ユニタが、パケットの通信順位の割り当てを受けた後においては、受信部 3 0 2 を通じて通信順位が自己より前の LAN ユニタからの

パケットの送出状況を監視しながら、キャリア空き時間を短縮していく。

これにより、各LANユニットから次々に送出されるリアルタイムデータを伝送するためのパケットは、直前の電波との間の間隔を最短の間隔（この第2の実施の形態においては、50 μ 秒）で送出することができる。また、何らかの原因により、通信順位が先のLANユニットからパケットが送出されなかった場合においても、その次の優先順位のLANユニットからパケットを送出することができる。

さらに、妨害信号などが伝送路に混入するなどして、各LAN端末装置のLANユニットに割り当てられた通信順位に応じた本来の送出タイミングがずれた場合であっても、直前の電波との間隔であるキャリア空き時間による優先順位（パケット送出の優先タイミング）により、相互に衝突したり、通信順位が前後するなどのことを確実に防止し、制御局により予め決められる通信順位にしたがってパケットを送出することができる。

なお、上述のことからも分かるように、この第2の実施の形態において、LANユニットの制御部310が、キャリア空き時間をキャリア時間検出部304に設定する空時間設定手段としての機能を有し、キャリア空き時間検出部304が送信部303からのリアルタイムデータの送信タイミングを制御するデータ送出制御手段としての機能を有している。

また、受信部302と制御部310とにより、自己よりも通信順位の早いLANユニットからのパケットが送出されたか否かを検出するデータ送出検出手段としての機能を実現している。また、制御部310は、キャリア空き時間検出部304に設定したキャリア空き時間を短縮する機能をも有している。

図17は、図11に示したこの第2の実施の形態のLANシス

テムにおいて、L A N 端末装置 2 から L A N 端末装置 4 へ、L A N 端末装置 3 から L A N 端末装置 2 へ、L A N 端末装置 5 から L A N 端末装置 3 へ、それぞれリアルタイムデータの送信を行う場合を説明するための図である。

5 この第 2 の実施の形態の L A N システムを構成する各 L A N 端末装置は、制御局として動作する L A N 端末装置 1 からの先頭タイミング信号（図 1 7 A）により、通信順位の割り当て要求を送信した各 L A N 端末装置に割り当てられた通信順位を知る。

10 この第 2 の実施の形態においては、前述もしたように、L A N 端末装置 2 には 1 番目、L A N 端末装置 3 には 2 番目、L A N 端末装置 5 には 3 番目の通信順位が割り当てられる。そして、前述したように、通信順位が割り当てられた各 L A N 端末装置の L A N ユニットにおいては、キャリア空き時間が設定される。

15 そして、この第 2 の実施の形態においては、通信順位が 1 番目であり、5 0 μ 秒のキャリア空き時間が設定された L A N ユニット 2 3 からは、妨害信号などが伝送路に混入していなければ、図 1 7 B に示すように、先頭タイミング信号（図 1 7 A）の送信終了時点から 5 0 μ 秒経過後にリアルタイムデータを送出するためのパケットが送出される。

20 この L A N ユニット 2 3 からパケットが送出されると、前述したように、L A N ユニット 3 3 のキャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定されたキャリア空き時間は、1 0 0 μ 秒から 5 0 μ 秒に、また、L A N ユニット 5 3 のキャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定されたキャリア空き時間は、1 5 0 μ 秒から 1 0 0 μ 秒に短縮される。

25 そして、L A N ユニット 2 3 からパケットが送出された直後に、図 1 7 B と図 1 7 C との間に示すように、伝送路上に外部雑音が入ると、通信順位が 2 番目以降の L A N ユニット 3

3 および L A N ユニット 5 3 からはパケットの送出ができなくなる。

しかし、各 L A N ユニットは、前述したようにキャリア検出を行うことにより、外部雑音が消滅したときには、これを知ることができるので、L A N ユニット 3 3 は、図 1 7 C に示すように、外部雑音が消滅した時点から 5 0 μ 秒経過後において、パケットを送出する。

この場合、L A N ユニット 3 3 からのパケットの送出タイミングが、本来なら L A N ユニット 5 3 からパケットの送出タイミングと同じかその近傍となっている。しかし、L A N ユニット 5 3 に設定されたキャリア空き時間は、1 0 0 μ 秒であるので、L A N ユニット 5 3 は、L A N ユニット 3 3 よりも先に、あるいは、L A N ユニット 3 3 と同時にパケットを送出するなどということはない。

そして、L A N ユニット 3 3 からパケットが送出されると、L A N ユニット 5 3 のキャリア空き時間検出部 3 0 4 に設定されたキャリア空き時間は、1 0 0 μ 秒からこの第 2 の実施の形態においては、最短の 5 0 μ 秒に短縮される。これにより、L A N ユニット 5 3 は、図 1 7 D に示すように、L A N ユニット 3 3 からのパケットの送出終了時点から、5 0 μ 秒後にパケットを送出する。

そして、次の通信周期になると、図 1 5 に示したキャリア空き時間の設定および短縮処理が行われ、外部雑音などの妨害信号が伝送路上に混入しなければ、図 1 7 に示すように、各 L A N ユニットからは、直前のパケットの送信終了時点から最短の 5 0 μ 秒でパケットの送信を行うことができる。

このように、リアルタイムデータを送信しようとする L A N 端末装置の L A N ユニットは、割り当てられる通信順位に応じて、

パケット送信の優先順位となるキャリア検出時間を用いることによって、予め設定するようにされるリアルタイムデータを伝送するためのパケットの通信順位に応じた通信順序を妨害信号などが発生しても維持し、適正な順番でパケットの送出を行うことができる。

また、LANユニットのキャリア空き時間検出部 304 に設定されるキャリア空き時間を通信順位が前のパケット受信に応じて変化させるので、伝送路上に別の通信機器や雑音源がある場合にも、それらからの妨害信号を避けながら常に最適なタイミングでパケットを送出することができる。また、ランダムアクセスの信号が伝送路に混入したときも上述したように、その後のリアルタイムデータの送信を正常に続行することができる。

このように、この第2の実施の形態の通信方法、通信システム、通信端末を用いることによって、リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域においてリアルタイムデータを送信するので、リアルタイムデータを確実に送信することができる。また、リアルタイム領域以外をランダムアクセス領域として、ランダムデータの送受を行うことができるので、伝送容量を増加させることができる。

また、通信順位が割り当てられたリアルタイム領域においても伝送路の空きを確認するので、ランダムアクセスだけを行う機器との共存も可能であるばかりか、雑音などによる妨害をも防ぎ、リアルタイムデータの確実かつ正確な伝送を行うようにすることができる。

なお、この第2の実施の形態においては、キャリア空き時間は、通信順位が1番目の場合には、50 μ 秒、2番目の場合には、100 μ 秒、3番目の場合には、150 μ 秒と設定する場合を例にして説明したが、キャリア空き時間の設定は、これに限るもの

ではない。

例えば、通信順位が 1 番目の場合には、 $20\ \mu$ 秒、2 番目の場合には、 $50\ \mu$ 秒、3 番目の場合には、 $70\ \mu$ 秒というように、より短く設定することもできるし、長く設定することもできる。

5 また、LAN システムに接続される LAN 端末装置の台数、あるいは、通信順位が割り当てられた LAN 端末装置の台数などに応じて、キャリア空き時間の長さを変えるようにしてもよい。

また、この第 2 の実施の形態においては、LAN 端末装置 1 が制御局（通信管理装置）として動作し、各 LAN 端末装置からの通信順位の割り当て要求に応じて通信順位を割り当てるものとして説明したが、これに限るものではない。例えば、前述した第 1 の実施の形態の場合と同様に、リアルタイムデータを送信しようとする LAN 端末装置自身が、その時点における通信順位の割り当て状況に応じて、通信順位を割り当て、他の LAN 端末装置に宣言するようにしてもよい。

10

15

また、前述した第 2 の実施の形態においては、図 3 を用いて前述した第 1 の実施の形態の場合と同様に、LAN 端末装置 2 などからリアルタイムデータを送出する 1 方向通信の場合を例にして説明した。しかし、双方向通信の場合にもこの発明を適用することができる。

20

すなわち、双方向通信の場合には、通信要求元の端末から、目的とする相手先端末に通信要求を送信し、この通信要求に応じて、双方向通信を行うことを認めた相手先端末からの通信応答を通信供給元の端末から、通信要求元の端末と、相手先の端末とに、リアルタイムデータの通信順位の割り当てを要求する通信順位割り当て要求を制御局に送出する。

25

この通信順位割り当て要求に応じて割り当てられた通信順位に応じて、通信要求元の端末と、相手先端末とのそれぞれにおいて

、図 1 5、図 1 6 に示したフローチャートの処理を実行することにより、双方向通信の場合であっても、1 方向通信の場合と同様に、良好にリアルタイムデータの送受信を行うことができる。

5 もちろん、双方向通信の場合であっても、制御局を設けず、通信要求元の端末が、相手先端末からの通信応答を受信した場合に、自己と相手先端末との双方に通信順位を割り当て、これを各 LAN 端末装置に宣言するようにすることもできる。また、逆に、通信制御装置としてのみ動作する専用サーバ装置をネットワーク中に設け、この専用の通信制御装置によって、複数の通信御端末
10 の通信を制御するようにしてもよい。

 また、この第 2 の実施の形態においても、通信順位に応じたリアルタイム領域において、送信できなかったリアルタイムデータ（パケット）が発生したときには、第 1 の実施の形態の場合と同様に、ランダムアクセス領域において、再送信することもできる
15 。

 また、例えば、同じリアルタイムデータであっても、音声データと動画データとでは、パケット長がことなることになるが、これは、例えば、通信順位割り当て要求などに送信しようとするパケット長を示す情報を付加して制御局に送信し、前述したように
20 に先頭タイミング信号含めてすべての LAN 端末装置に送信することにより、すべての LAN 端末装置において、リアルタイム領域 RL と、ランダムアクセス領域 RM とを正確に区別し、両領域を使いわけることができる。

 また、前述した第 2 の実施の形態においては、リアルタイムデータの送信のタイミングを固定的に割り当てるものではなく、送信順位を割り当てるものであり、上述のように、リアルタイムデータを送信するためのパケットの長さ（パケット長）がリアルタイムデータなどに応じて変化しても、これに柔軟に対応し、効率
25

良く、かつ、正確にリアルタイムデータを送信することができる。

また、この第 2 の実施の形態においても、1 通信周期中においてのリアルタイム領域と、ランダムアクセス領域の割合を予め設定するようにしてもよい。例えば、1 通信周期の 3 分の 2 をリアルタイム領域、1 通信周期の 3 分の 1 をランダムアクセス領域と

5 いうように予め設定するようにしてもよい。また、リアルタイム領域とランダムアクセス領域とを 1 通信周期中に交互に設定するようにすることともできる。

10 なお、前述の第 1、第 2 の実施の形態においては、前述したように、制御局として動作する LAN 端末装置 1 において、LAN ユニット 1 2 の制御部 2 1 0、あるいは、LAN ユニット 1 3 の制御部 3 1 0 が、通信周期を管理する手段としての機能を有するとともに、通信タイミングや通信順位を割り当てる通信タイ

15 グ割り当て手段、あるいは、通信順位割り当て手段としての機能を有している。

また、第 1 の実施の形態においては、前述したように、制御部 2 1 0 と送受信部 2 0 2 が協働して、通信タイミング通知手段としての機能を実現し、また、第 2 の実施の形態においては、制御

20 部 3 1 0 と送受信部 3 0 3 が協働して、通信順位通知手段としての機能を実現している。

また、前述した第 1、第 2 の実施の形態の LAN システムは、一例であり、様々な LAN システムにこの発明を適用することができる。

25 また、前述した第 1、第 2 の実施の形態においては、各 LAN 端末装置は、無線によりネットワークに接続するようにされたが、これに限るものではなく、有線によりネットワークに接続するようにされるものにもこの発明を適用することができる。

また、前述の実施の形態においては、この発明による通信端末であるLANユニットは、ターミナル装置と別体であるものとして説明したが、これに限るものではない。例えば、ターミナル装置にLANユニットを搭載するようにするにしてもよい。

5 つまり、ターミナル装置に通信機能を搭載し、ターミナル装置の制御部に、LANユニットの制御部と同様の機能を持たせるようにすればよい。この場合には、ターミナル装置の制御部において動作するようにされるソフトウェアによって、LANユニットの制御部の機能を実現させるようにすることができる。

10 以上説明したように、この発明によれば、リアルタイムデータをリアルタイム領域においてリアルタイムに送信し、ランダムデータをランダムアクセス領域においてランダムアクセスにより送信することができる。このため、リアルタイムデータを確実に送受することができる。また、リアルタイムデータ、ランダムデータとも伝送することができるようにされ、伝送容量を増加させ、スループットを向上させることができる。

15 また、通信タイミングに基づいてデータの送信を行うリアルタイム領域においても、伝送路の空きを検出するので、ランダムアクセスだけを行う機器との共存もできる。また、雑音などの妨害信号により妨害も防ぐことができる。

20 また、通信順位（通信順序）の割り当て、および、キャリア空き時間を用いることにより、リアルタイムデータの送出タイミングを固定的に設定することなく、伝送路の使用の衝突を確実に防止しながらリアルタイムデータを確実にかつ正確に伝送することができる。

25 また、通信順位（通信順序）の割り当て、および、キャリア空き時間を用いることにより、各LAN端末装置からのパケットをキャリア空き時間を最短になるようにして送信することができる。

ので、伝送路を無駄なく使用し、システムの伝送容量を増加させることができる。

また、通信順位（通信順序）の割り当て、および、キャリア空き時間を用いることにより、通信順位が先のLAN端末装置からパケットが送出されない場合であっても、その通信順位が先のLAN端末装置からのパケット送出分の時間を無駄にすることなく、次に通信順位のLAN端末装置が、自己のキャリア空き時間に
5 応じたタイミングでパケットを送出することができるので、伝送路を無駄なく使用し、システムの伝送容量を増加させることができる。

また、レート可変の圧縮方法によって圧縮された信号を伝送する場合にも、例えば平均の伝送レートに合わせてチャンネルを設定しておくだけで、レートの変動によるパケット長の変化にも柔軟に対応することが可能である。

産業上の利用の可能性

第1、第2の実施の形態のLANシステムは、一例であり、様々なLANシステムにこの発明を適用することができる。また、前述した第1、第2の実施の形態においては、各LAN端末装置は、無線によりネットワークに接続するようにされたが、これに限るものではなく、有線によりネットワークに接続するようにされるものにもこの発明を適用することができる。また、前述の実施の形態においては、この発明による通信端末であるLANユニットは、ターミナル装置と別体であるものとして説明したが、これに限るものではない。例えば、ターミナル装置にLANユニットを搭載するようにするにしてもよい。つまり、ターミナル装置に通信機能を搭載し、ターミナル装置の制御部に、LANユニットの制御部と同様の機能を持たせるようにすればよい。この

場合には、ターミナル装置の制御部において動作するようにされるソフトウェアによって、LANユニットの制御部の機能を実現させるようにすることができる。

5

10

15

20

25

請求の範囲

1. 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信方法であって、

5 通信の開始に際し、通信を開始しようとする通信端末の通信タイミングを前記通信周期内に割り当てる通信タイミング登録工程と、

 割り当てられた前記通信タイミングを前記チャンネルを共用する他の通信端末に通知する通知工程と

10 を備えることを特徴とする通信方法。

2. 前記チャンネルを共用する前記複数の通信端末が接続されたネットワーク中に、前記通信周期を管理する少なくとも1つの通信管理装置を設け、

 前記通信管理装置は、

15 通信を開始しようとする前記通信端末が、前記通信管理装置に対して前記通信タイミングの割り当て要求を送信したときに、前記通信タイミング登録工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする請求項1に記載の通信方法。

20 3. 通信を開始しようとする前記通信端末が、自己の通信タイミングの割り当てを自分自身で行って前記通信タイミング登録工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする請求項1に記載の通信方法。

25 4. 割り当てられた前記通信タイミングに基づいて音声データや画像データなどのリアルタイムデータの通信を行うリアルタイム領域と、ランダムなタイミングでデータ通信を行うランダムアクセス領域とを、前記通信周期を2分して設けることを特徴とする請求項1に記載の通信方法。

5. 割り当てられた前記通信タイミングに応じて、前記通信周期

中に前記リアルタイム領域を順次に設定していき、前記通信周期中の残りの領域を前記ランダムアクセス領域とすることを特徴とする請求項 4 に記載の通信方法。

5 6. 前記リアルタイム領域において送信されたリアルタイムデータが、正常に受信されなかった場合に、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを、前記ランダムアクセス領域において再送信することを特徴とする請求項 4 に記載の通信方法。

7. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

10 前記チャンネルの使用の衝突の回避は、前記搬送波の有無を検出することにより行うことを特徴とする請求項 1 に記載の通信方法。

15 8. 1 つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、呼び出し元の前記通信端末である呼び出し元端末と、前記呼び出し元端末に呼び出される前記通信端末である相手先端末との間で双方向に通信を行うようにする通信方法であって、

20 前記呼び出し元端末が、ランダムアクセスにより目的とする前記相手先端末を呼び出すようにする呼び出し工程と、

 前記相手先端末が、前記呼び出し元端末からの呼び出しに応じるときに、前記呼び出し元端末に対して応答を返信する応答工程と、

25 前記呼び出しに対する前記応答があった場合に、前記呼び出し元端末および前記相手先端末のそれぞれの通信タイミングを前記通信周期内に割り当てる通信タイミング割り当て工程と、

 割り当てられた前記通信タイミングのそれぞれを前記チャンネルを共用する他の通信端末に通知する通知工程と、

を備え、

前記呼び出し元端末と前記相手先端末とは、前記通信周期ごとであって、それぞれに対応する前記通信タイミングに基づいて送信を実行することにより双方向通信を行うことを特徴とする通信方法。

9. 前記チャンネルを共用する前記複数の通信端末が接続されたネットワーク中に、前記通信周期を管理する少なくとも1つの通信管理装置が設けられ、

前記呼び出し元端末は、前記相手先端末から前記呼び出しに対する応答があった場合に、自己と前記相手先端末との双方に、前記通信タイミングを割り当てるように要求する割り当て要求を形成して、前記通信管理装置に送信するタイミング割り当て要求工程と、

前記通信管理装置は、前記割り当て要求に応じて、前記通信タイミング割り当て工程と、前記通知工程とを実行することを特徴とする請求項8に記載の通信方法。

10. 前記相手先端末から前記呼び出し元端末に対する応答の返信があった場合に、前記呼び出し元端末自身が、前記通信タイミング割り当て工程と、前記通知工程とを実行することを特徴とする請求項8に記載の通信方法。

11. 前記割り当てられた通信タイミングに基づいて音声データや画像データなどのリアルタイムデータの送信を行うリアルタイム領域と、ランダムなタイミングでデータ通信を行うランダムアクセス領域とを前記通信周期中を2分して設けることを特徴とする請求項8に記載の通信方法。

12. 割り当てられた前記通信タイミングに応じて、前記通信周期中に前記リアルタイム領域を順次に設定していき、前記通信周期中の残りの領域を前記ランダムアクセス領域とすることを

特徴とする請求項 1 1 に記載の通信方法。

1 3. 前記リアルタイム領域において送信されたリアルタイムデータが、正常に受信されなかった場合に、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを、前記ランダムアクセス領域において再送信することを特徴とする請求項 1 1 に記載の通信方法。

1 4. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記チャンネルの使用の衝突の回避は、前記チャンネル上の前記搬送波の有無を検出することにより行うことを特徴とする請求項 8 に記載の通信方法。

1 5. 1 つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信方法であって、

通信の開始に際し、通信を開始しようとする通信端末に対して通信順位を割り当てる通信順位割当工程と、

割り当てられた前記通信順位を前記チャンネルを共用する他の通信端末に通知する通知工程と、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、割り当てられた前記通信順位に応じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定工程と、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、前記チャンネル上に、前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出工程と

を備えることを特徴とする通信方法。

1 6. 前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれに

において、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出工程と、

前記データ送出検出工程において、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、
5 前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直す空き時間短縮工程と

を備えることを特徴とする請求項 15 に記載の通信方法。

17. 前記チャンネルを共用する前記複数の通信端末が接続されたネットワーク中に、前記通信順位を管理する少なくとも 1 つの通信管理装置を設け、

前記通信管理装置は、

通信を開始しようとする前記通信端末が、前記通信管理装置に対して前記通信順位の割り当て要求を送信したときに、前記
15 通信順位割当工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする請求項 15 に記載の通信方法。

18. 通信を開始しようとする前記通信端末が、自己の通信順位の割り当てを自分自身で行って前記通信順位割当工程を実行するとともに、前記通知工程を実行することを特徴とする請求項
20 15 に記載の通信方法。

19. 割り当てられた前記通信順位に基づいて音声データや画像データなどのリアルタイムデータの通信を行うリアルタイム領域と、ランダムなタイミングでデータ通信を行うランダムアクセス領域とを、前記通信周期を 2 分して設けることを特徴とする
25 請求項 15 に記載の通信方法。

20. 割り当てられた前記通信順位に応じて、前記通信周期中に前記リアルタイム領域を順次に設定していき、前記通信周期中の残りの領域を前記ランダムアクセス領域とすることを特徴と

する請求項 19 に記載の通信方法。

21. 前記リアルタイム領域において送信されたリアルタイムデータが、正常に受信されなかった場合に、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを、前記通信端末である相手先端末との間で双方向に通信を行うようにする通信方法であって、

前記呼び出し元端末が、ランダムアクセスにより目的とする前記相手先端末を呼び出すようにする呼び出し工程と、

前記相手先端末が、前記呼び出し元端末からの呼び出しに応じるときに、前記呼び出し元端末に対して応答を返信する応答工程と、

前記呼び出しに対する前記応答があった場合に、前記呼び出し元端末および前記相手先端末のそれぞれの通信順位を割り当てる通信順位割当工程と、

割り当てられた前記通信順位のそれぞれを前記チャンネルを共用する他の通信ランダムアクセス領域において再送信することを特徴とする請求項 19 に記載の通信方法。

22. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記チャンネルの空き時間の検出は、前記搬送波の無い場合を検出することにより行うことを特徴とする請求項 15 に記載の通信方法。

23. 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、呼び出し元の前記通信端末である呼び出し元端末と、前記呼び出し元端末に呼び出される前記端末に通知する通知工程と、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、割り当てられた前記通信順位に応じて、データの送出開

始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定工程と、

前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、前記チャンネル上に、前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出工程と

を備え、

前記呼び出し元端末と前記相手先端末とは、前記通信周期ごとであって、それぞれに対応する前記通信順位に応じたタイミングでデータの送信を実行することにより双方向通信を行うことを特徴とする通信方法。

2 4. 前記通信順位が割り当てられた前記通信端末のそれぞれにおいて、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出工程と、

前記データ送出検出工程において、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記空き時間設定工程において設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直す空き時間短縮工程と

を備えることを特徴とする請求項 2 3 に記載の通信方法。

2 5. 前記チャンネルを共用する前記複数の通信端末が接続されたネットワーク中に、前記通信周期を管理する少なくとも 1 つの通信管理装置が設けられ、

前記呼び出し元端末は、前記相手先端末から前記呼び出しに対する応答があった場合に、自己と前記相手先端末との双方に、前記通信順位を割り当てるように要求する割り当て要求を形成して、前記通信管理装置に送信するタイミング割り当て要求工程と、

前記通信管理装置は、前記割り当て要求に応じて、前記通信順位割り当て工程と、前記通知工程とを実行することを特徴とする請求項 2 3 に記載の通信方法。

2 6. 前記相手先端末から前記呼び出し元端末に対する応答の返信があった場合に、前記呼び出し元端末自身が、前記通信タイミング割り当て工程と、前記通知工程とを実行することを特徴とする請求項 2 3 に記載の通信方法。

2 7. 前記割り当てられた通信順位に基づいて音声データや画像データなどのリアルタイムデータの送信を行うリアルタイム領域と、ランダムなタイミングでデータ通信を行うランダムアクセス領域とを前記通信周期中を 2 分して設けることを特徴とする請求項 2 3 に記載の通信方法。

2 8. 割り当てられた前記通信順位に応じて、前記通信周期中に前記リアルタイム領域を順次に設定していき、前記通信周期中の残りの領域を前記ランダムアクセス領域とすることを特徴とする請求項 2 7 に記載の通信方法。

2 9. 前記リアルタイム領域において送信されたリアルタイムデータが、正常に受信されなかった場合に、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを、前記ランダムアクセス領域において再送信することを特徴とする請求項 2 7 に記載の通信方法。

3 0. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記チャンネルの空きの検出は、前記チャンネル上の前記搬送波の無い場合を検出することにより行うことを特徴とする請求項 2 3 に記載の通信方法。

3 1. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが

、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信システムであって、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

5 通信の開始に際し、通信タイミングの割り当て要求を生成し、これを前記通信管理装置に送信する割り当て要求手段と、

前記通信周期ごとに、前記通信管理装置により割り当てられた通信タイミングでデータを送信する送信制御手段と

を備え、

10 前記通信管理装置は、

前記通信周期を管理する手段と、

前記複数の通信端末のそれぞれからの前記割り当て要求に応じて、要求元の前記通信端末に対して前記通信タイミングを割り当てる通信タイミング割り当て手段と、

15 前記通信タイミング割り当て手段により割り当てた前記通信タイミングを、前記複数の通信端末のそれぞれに送信するようにする通信タイミング通知手段と

を備えることを特徴とする通信システム。

3 2. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

20 送信しようとするデータが音声データや画像データなどのリアルタイムデータであるときには、前記割り当て要求に応じて前記通信管理装置により設定される前記通信タイミングに基づいて、前記送信制御手段により前記リアルタイムデータを送信するようにし、

25 送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデータであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域において送信するようにするランダムアクセス制御手段を

備える

ことを特徴とする請求項 3 1 に記載の通信システム。

- 3 3. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信制御装置により前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 3 2 に記載の通信システム。

- 3 4. 前記送信制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 3 2 に記載の通信システム。

- 3 5. 前記共用するチャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

前記チャンネル上の前記搬送波の有無を検出し、この検出結果に応じて、前記共用するチャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする請求項 3 2 に記載の通信システム。

- 3 6. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、双方向に通信を行うようにする通信システムであって、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

目的とする相手先端末を呼び出すための通信要求を形成し、これをランダムアクセスにより前記相手先端末に送信する通信要求手段と、

前記通信要求手段により形成された前記通信要求に応じて、前記相手先端末から応答が返信されてきたときに、呼び出し元端末である自己と前記相手先端末に対する通信タイミングの割り当て要求を形成し、これを前記通信管理装置に送信する割り当て要求手段と、

自己宛てに送信されてきた通信要求に応じる場合に、呼び出し元端末に返信する応答を形成して、これを前記呼び出し元端末に送信する応答手段と

前記通信管理装置からの自己宛ての通信タイミングに応じて、データを送信する送信制御手段と、

を備え、

前記通信管理装置は、

通信周期を管理する手段と、

前記呼び出し元端末からの前記呼び出し元端末と前記相手先端末に対する通信タイミングの前記割り当て要求に応じて、前記呼び出し元端末と、前記相手先端末とのそれぞれに対して前記通信タイミングを割り当てるようにする通信タイミング割り当て手段と、

前記通信タイミング割り当て手段により割り当てた前記通信タイミングを、前記複数の通信端末のそれぞれに通知するようにする通信タイミング通知手段と

を備えることを特徴とする通信システム。

37. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

音声データや画像データなどのリアルタイムデータの通信を行う場合には、前記送信制御手段の制御により前記通信タイミ

ングに基づいてデータを送信し、

ランダムに発生するランダムデータをランダムアクセスにより送信する場合に、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域においてランダムデータを送信するように制御するランダムアクセス制御手段と

を備えることを特徴とする請求項 3 6 に記載の通信システム。

3 8. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信制御装置により前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記通信端末の前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 3 7 に記載の通信システム。

3 9. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

前記送信制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において、前記相手先端末に再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 3 7 に記載の通信システム。

4 0. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

前記チャンネルにおいて、前記搬送波の有無を検出し、この検出結果に応じて、前記共用するチャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする

請求項 3 6 に記載の通信システム。

- 4 1. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、
1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、
他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、
5 一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信システム
であって、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

通信の開始に際し、通信順位の割り当て要求を生成し、これを
前記通信管理装置に送信する割り当て要求手段と、

10 前記通信管理装置により、割り当てられた前記通信順位に応じて、
データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の
長さを設定する空き時間設定手段と、

前記チャンネル上に、前記空き時間設定手段により設定された
前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、自
15 機からデータを送出するデータ送出制御手段と

を備え、

前記通信管理装置は、

前記通信周期を管理する手段と、

20 前記複数の通信端末のそれぞれからの前記割り当て要求に応じて、
要求元の前記通信端末に対して前記通信順位を割り当てる
通信順位割り当て手段と、

前記通信順位割り当て手段により割り当てた前記通信順位を、
前記複数の通信端末のそれぞれに送信するようにする通信順位
25 通知手段と

を備えることを特徴とする通信システム。

- 4 2. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出した
か否かを検出するデータ送出検出手段とを備え、

前記データ送出検出手段により、前記通信順位が自機よりも
前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前
記空き時間設定手段は、自機に設定した前記空き時間を、割り
当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直す
ことを特徴とする請求項 4 1 に記載の通信システム。

4 3. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

送信しようとするデータが音声データや画像データなどのリ
アルタイムデータであるときには、設定された前記空き時間
に基づいて、前記データ送出制御手段により前記リアルタイムデ
ータを送信するようにし、

送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデー
タであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイ
ムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス
領域において送信するようにするランダムアクセス制御手段を
備えることを特徴とする請求項 4 1 に記載の通信システム。

4 4. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域
は、前記通信制御装置により前記通信順位が設定されるごとに
前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が
設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセ
ス領域として用いることを特徴とする請求項 4 3 に記載の通信
システム。

4 5. 前記データ送出制御手段の制御により、前記リアルタイム
領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信さ
れなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイム
データを前記ランダムアクセス領域において再送信するよう
にする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 4 3 に記
載の通信システム。

4 6 . 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、
1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが
、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、
一定の通信周期ごとであって、双方向に通信を行うように
5 する通信システムであって、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

目的とする相手先端末を呼び出すための通信要求を形成し、
これをランダムアクセスにより前記相手先端末に送信する通信
要求手段と、

10 前記通信要求手段により形成された前記通信要求に応じて、
前記相手先端末から応答が返信されてきたときに、呼び出し元
端末である自己と前記相手先端末に対する通信順位の割り当て
要求を形成し、これを前記通信管理装置に送信する割り当て要
求手段と、

15 自己宛てに送信されてきた通信要求に応じる場合に、呼び出
し元端末に返信する応答を形成して、これを前記呼び出し元端
末に送信する応答手段と

前記通信管理装置により、割り当てられた前記通信順位に応
じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時
間の長さを設定する空き時間設定手段と、

20 前記チャンネル上に、前記空き時間設定手段により設定した
前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、デー
タを送出するデータ送出制御手段と

を備え、

25 前記通信管理装置は、

通信周期を管理する手段と、

前記呼び出し元端末からの前記呼び出し元端末と前記相手先
端末に対する通信順位の前記割り当て要求に応じて、前記呼び

出し元端末と、前記相手先端末とのそれぞれに対して前記通信順位を割り当てるようにする通信順位割り当て手段と、

前記通信順位割り当て手段により割り当てた前記通信順位を、前記複数の通信端末のそれぞれに通知するようにする通信順位通知手段と

を備えることを特徴とする通信システム。

4 7. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出手段とを備え、

前記データ送出検出手段により、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記空き時間設定手段は、自機に設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直すことを特徴とする請求項 4 6 に記載の通信システム。

4 8. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

音声データや画像データなどのリアルタイムデータの通信を行う場合には、前記送出制御手段の制御により前記空き時間に応じたタイミングでデータを送出し、

ランダムに発生するランダムデータをランダムアクセスにより送信する場合に、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域においてランダムデータを送信するように制御するランダムアクセス制御手段と

を備えることを特徴とする請求項 4 7 に記載の通信システム

。

4 9. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信制御装置により前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記通信端末の前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 4 8 に記載の通信システム。

5 5 0. 前記複数の通信端末のそれぞれは、

前記データ送出制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において、前記相手先端末に再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 4 8 に記載の通信システム。

5 1. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記複数の通信端末のそれぞれは、

15 前記チャンネルにおいて、前記搬送波の有無を検出し、この検出結果に応じて、前記チャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする請求項 4 7 に記載の通信システム。

20 5 2. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信システムの前記通信端末であって、

25 データの通信の開始に先立って、通信タイミングの割り当て要求を生成し、これを前記通信管理装置に送信する割り当て要求手段と、

前記通信周期ごとに、前記通信管理装置により割り当てられた前記通信タイミングでデータを送信する送信制御手段と

を備えることを特徴とする通信端末。

5 3. 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信
端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の
通信周期ごとに通信を行うようにする通信端末であって、

5 データの通信の開始に先立って、自己に通信タイミングを割
り当てて、これを他の通信端末に通知する通信タイミング割り
当て手段と、

前記通信周期ごとに、前記通信タイミングでデータを送信す
る送信制御手段と

10 を備えることを特徴とする通信端末。

5 4. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどの
リアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基
づいて、前記送信制御手段の制御により前記リアルタイムデー
タを送信するようにし、

15 送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデー
タであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイム
データを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス
領域において送信するようにするランダムアクセス制御手段を
備えることを特徴とする請求項52に記載の通信端末。

20 5 5. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域
は、前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に
順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が
設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセ
ス領域として用いることを特徴とする請求項54に記載の通信
25 端末。

5 6. 前記送信制御手段の制御により、前記リアルタイム領域に
おいて送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなか

ったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 5 4 に記載の通信端末。

5 5 7. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記チャンネル上の前記搬送波の有無を検出し、この検出結果に応じて、前記共用するチャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする請求項 10 5 2 に記載の通信端末。

5 5 8. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどのリアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基づいて、前記送信制御手段の制御により前記リアルタイムデータを送信するようにし、

15 送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデータであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域において送信するようにするランダムアクセス制御手段を備えることを特徴とする請求項 5 3 に記載の通信端末。

20 5 9. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 5 8 に記載の通信 25 端末。

6 0. 前記送信制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなか

ったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 5 8 に記載の通信端末。

- 5 6 1. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

 前記チャンネル上の前記搬送波の有無を検出し、この検出結果に応じて、前記共用するチャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする請求項
10 5 3 に記載の通信端末。

- 6 2. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、
 1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、
 他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、双方向に通信を行う通信シ
15 ステムの通信端末であって、

 目的とする相手先端末を呼び出すための通信要求を形成し、
 これをランダムアクセスにより前記相手先端末に送信する通信
 要求手段と、

 前記通信要求手段により形成された前記通信要求に応じて、
20 前記相手先端末から応答が返信されてきたときに、呼び出し元
 端末である自己と前記相手先端末に対する通信タイミングの割
 り当て要求を形成し、これを前記通信管理装置に送信する割り
 当て要求手段と、

 自己宛てに送信されてきた通信要求に応じる場合に、呼び出
25 し元端末に返信する応答を形成して、これを前記呼び出し元端
 末に送信する応答手段と

 前記通信管理装置からの自己宛ての通信タイミングに応じて
 、データを送信する送信制御手段と

を備えることを特徴とする通信端末。

6 3. 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信
端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の
通信周期ごとであって、双方向に通信を行うようにする通信シ
ステムの通信端末であって、

目的とする相手先端末を呼び出すための通信要求を形成し、
これをランダムアクセスにより前記相手先端末に送信する通信
要求手段と、

前記通信要求手段により形成された前記通信要求に応じて、
前記相手先端末から応答が返信されてきたときに、呼び出し元
端末である自己と前記相手先端末に対する通信タイミングを割
り当てて、これを他の通信端末に通知するようにする通信タイ
ミング割り当て手段と、

自己宛ての通信要求に応じる場合に、呼び出し元端末に返信
する応答を形成して、これを前記呼び出し元端末に送信する応
答手段と

前記通信タイミングに応じて、データを送信するように制御
する送信制御手段と、

を備えることを特徴とする通信端末。

6 4. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどの
リアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基
づいて、前記送信制御手段により前記リアルタイムデータを送
信するようにし、

送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデー
タであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイム
データを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス
領域において送信するように制御するランダムアクセス制御手
段を備えることを特徴とする請求項 6 2 に記載の通信端末。

6 5. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 6 4 に記載の通信端末。

6 6. 前記送信制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 6 4 に記載の通信端末。

6 7. 前記チャンネルは、予め決められた同一の周波数の搬送波を用いるものであり、

前記チャンネル上の前記搬送波の有無を検出することにより、前記チャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする請求項 6 2 に記載の通信端末。

6 8. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどのリアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基づいて、前記送信制御手段により前記リアルタイムデータを送信するようにし、

送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデータであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域において送信するように制御するランダムアクセス制御手段を備えることを特徴とする請求項 6 3 に記載の通信端末。

69. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項68に記載の通信端末。

70. 前記送信制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項68に記載の通信端末。

71. 前記チャンネルは、予め決められた同一の周波数の搬送波を用いるものであり、

前記チャンネル上の前記搬送波の有無を検出することにより、前記チャンネルの使用の衝突の回避を行うようにする搬送波検出手段を備えることを特徴とする請求項63に記載の通信端末。

72. 少なくとも1つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信システムの前記通信端末であって、

データの通信の開始に先立って、通信順位の割り当て要求を生成し、これを前記通信管理装置に送信する割り当て要求手段と、

前記通信管理装置により、割り当てられた前記通信順位に応

じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定手段と、

前記通信周期ごとであって、前記チャンネル上に、前記空き時間設定手段により設定された前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出制御手段と

を備えることを特徴とする通信端末。

7 3. 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信端末であって、

データの通信の開始に先立って、自己に通信順位を割り当てて、これを他の通信端末に通知する通信順位割り当て手段と、

割り当てた前記通信順位に応じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定手段と、

前記通信周期ごとであって、前記チャンネル上に、前記空き時間設定手段により設定された前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出制御手段と

を備えることを特徴とする通信端末。

7 4. 前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出手段とを備え、

前記データ送出検出手段により、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記空き時間設定手段は、自機に設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直すことを特徴とする請求項 7 2 に記載の通信端末。

7 5. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどの

リアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基づいて、前記データ送出制御手段の制御により前記リアルタイムデータを送信するようにし、

5 送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデータであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域において送信するようにするランダムアクセス制御手段を備えることを特徴とする請求項 7 2 に記載の通信端末。

10 7 6. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

15 前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 7 5 に記載の通信端末。

20 7 7. 前記データ送出制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 7 5 に記載の通信端末。

7 8. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

25 前記空き時間の検出は、前記チャンネル上の前記搬送波の無い場合を検出することにより行うことを特徴とする請求項 6 4、請求項 6 5、請求項 6 6、請求項 6 7、請求項 7 2 に記載の通信端末。

7 9. 前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出

したか否かを検出するデータ送出検出手段とを備え、

前記データ送出検出手段により、前記通信順位が自機よりも
前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前
記空き時間設定手段は、自機に設定した前記空き時間を、割り
5 当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直す
ことを特徴とする請求項 7 3 に記載の通信端末。

8 0. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどの
リアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基
づいて、前記データ送出制御手段の制御により前記リアルタイム
10 データを送信するようにし、

送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデー
タであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイム
データを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス
領域において送信するようにするランダムアクセス制御手段を
15 備えることを特徴とする請求項 7 3 に記載の通信端末。

8 1. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域
は、前記通信タイミングが設定されるごとに前記通信周期中に
順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が
20 設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセ
ス領域として用いることを特徴とする請求項 8 0 に記載の通信
端末。

8 2. 前記データ送出制御手段の制御により、前記リアルタイム
領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信さ
25 れなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイム
データを前記ランダムアクセス領域において再送信するように
する再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 8 0 に記
載の通信端末。

8 3. 前記チャンネルは、予め決められた同一周波数の搬送波を用いるものであり、

前記空き時間の検出は、前記チャンネル上の前記搬送波の無い場合を検出することにより行うことを特徴とする請求項 7 3 に記載の通信端末。

8 4. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、双方向に通信を行う通信システムの通信端末であって、

目的とする相手先端末を呼び出すための通信要求を形成し、これをランダムアクセスにより前記相手先端末に送信する通信要求手段と、

前記通信要求手段により形成された前記通信要求に応じて、前記相手先端末から応答が返信されてきたときに、呼び出し元端末である自己と前記相手先端末に対する通信順位の割り当て要求を形成し、これを前記通信管理装置に送信する割り当て要求手段と、

自己宛てに送信されてきた通信要求に応じる場合に、呼び出し元端末に返信する応答を形成して、これを前記呼び出し元端末に送信する応答手段と

前記通信管理装置により、自機に割り当てられた前記通信順位に応じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定手段と、

前記チャンネル上に、前記空き時間設定手段により設定した前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出制御手段と を備えることを特徴とする通信端末。

8 5. 1つのチャンネルを共用する複数の通信端末が、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとであって、双方向に通信を行うようにする通信システムの通信端末であって、

5 目的とする相手先端末を呼び出すための通信要求を形成し、これをランダムアクセスにより前記相手先端末に送信する通信要求手段と、

10 前記通信要求手段により形成された前記通信要求に応じて、前記相手先端末から応答が返信されてきたときに、呼び出し元端末である自己と前記相手先端末に対する通信順位を割り当てて、これを他の通信端末に通知するようにする通信タイミング割り当て手段と、

15 自己宛ての通信要求に応じる場合に、呼び出し元端末に返信する応答を形成して、これを前記呼び出し元端末に送信する応答手段と

割り当てた前記通信順位に応じて、データの送出開始を可能とする前記チャンネルの空き時間の長さを設定する空き時間設定手段と、

20 前記チャンネル上に、前記空き時間設定手段により設定された前記空き時間の長さと同じ長さの空きを検出した場合に、データを送出するデータ送出制御手段と

を備えることを特徴とする通信端末。

8 6. 前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出手段とを備え、

25 前記データ送出検出手段により、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記空き時間設定手段は、設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直すことを

特徴とする請求項 8 4 に記載の通信端末。

8 7. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどのリアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基づいて、前記データ送出制御手段により前記リアルタイムデータを送信するようにし、

送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデータであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域において送信するように制御するランダムアクセス制御手段を備えることを特徴とする請求項 8 4 に記載の通信端末。

8 8. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信順位が設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 8 7 に記載の通信端末。

8 9. 前記データ送出制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 8 7 に記載の通信端末。

9 0. 前記チャンネルは、予め決められた同一の周波数の搬送波を用いるものであり、

前記空き時間の検出は、前記チャンネル上の前記搬送波の無い場合を検出することにより行うようにしたことを特徴とする請求項 8 4 に記載の通信端末。

9 1. 前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したか否かを検出するデータ送出検出手段とを備え、

前記データ送出検出手段により、前記通信順位が自機よりも前の通信端末が、データを送出したことを検出した場合に、前記空き時間設定手段は、設定した前記空き時間を、割り当てられた前記通信順位に応じて、短くするように設定し直すことを特徴とする請求項 8 5 に記載の通信端末。

9 2. 送信しようとするデータが音声データや画像データなどのリアルタイムデータであるときには、前記通信タイミングに基づいて、前記データ送出制御手段により前記リアルタイムデータを送信するようにし、

送信しようとするデータがランダムに発生するランダムデータであるときには、前記通信周期内において、前記リアルタイムデータを送信するリアルタイム領域以外のランダムアクセス領域において送信するように制御するランダムアクセス制御手段を備えることを特徴とする請求項 8 5 に記載の通信端末。

9 3. 前記リアルタイムデータを送信する前記リアルタイム領域は、前記通信順位が設定されるごとに前記通信周期中に順次に設定するようにされ、

前記ランダムアクセス制御手段は、前記リアルタイム領域が設定された前記通信周期内の残りの部分を前記ランダムアクセス領域として用いることを特徴とする請求項 9 2 に記載の通信端末。

9 4. 前記データ送出制御手段の制御により、前記リアルタイム領域において送信した前記リアルタイムデータが正常に受信されなかったときに、正常に受信されなかった前記リアルタイムデータを前記ランダムアクセス領域において再送信するようにする再送信制御手段を備えることを特徴とする請求項 9 2 に記

載の通信端末。

- 9 5. 前記チャンネルは、予め決められた同一の周波数の搬送波を用いるものであり、

前記空き時間の検出は、前記チャンネル上の前記搬送波の無い場合を検出することにより行うようにしたことを特徴とする請求項 8 5 に記載の通信端末。

- 9 6. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1 つのチャンネルを共用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信システムの前記通信管理装置であって、

前記通信周期を管理する手段と、

前記複数の通信端末のそれぞれからの通信タイミングの割り当て要求に応じて、要求元の前記通信端末に対する通信タイミングを割り当てる通信タイミング割り当て手段と、

前記通信タイミング割り当て手段により割り当てた前記通信タイミングを前記複数の通信端末のそれぞれに通知するようにする通信タイミング通知手段と

を備えることを特徴とする通信管理装置。

- 9 7. 少なくとも 1 つの通信管理装置と、複数の通信端末とが、1 つのチャンネルを使用し、前記複数の通信端末のそれぞれが、他の通信端末との前記チャンネルの使用の衝突を回避しながら、一定の通信周期ごとに通信を行うようにする通信システムの前記通信管理装置であって、

前記通信周期を管理する手段と、

前記複数の通信端末のそれぞれからの通信順位の割り当て要求に応じて、要求元の前記通信端末に対する通信順位を割り当てる通信順位割り当て手段と、

前記通信順位割り当て手段により割り当てた前記通信順位を
前記複数の通信端末のそれぞれに通知するようにする通信順位
通知手段と

を備えることを特徴とする通信管理装置。

5

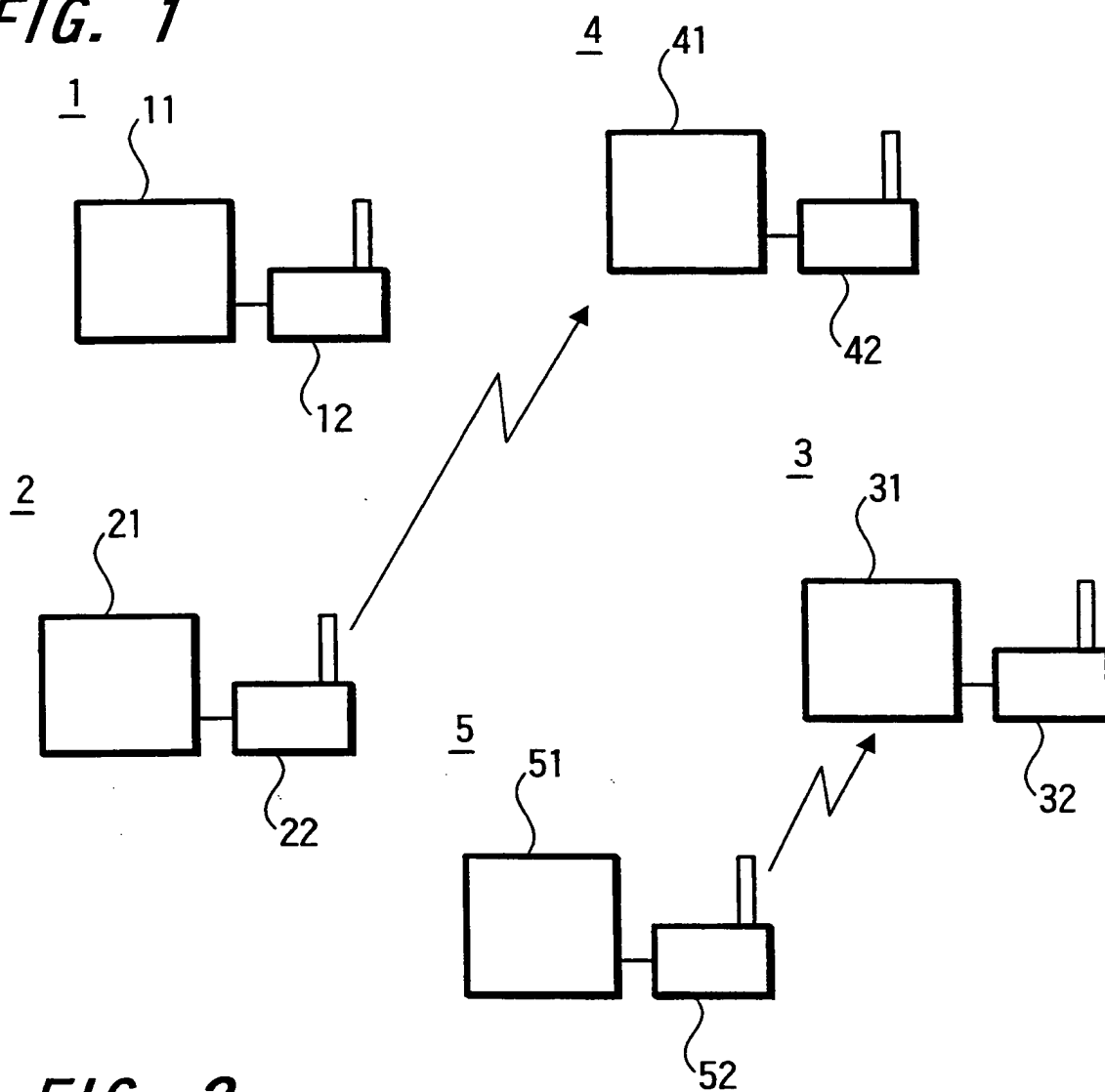
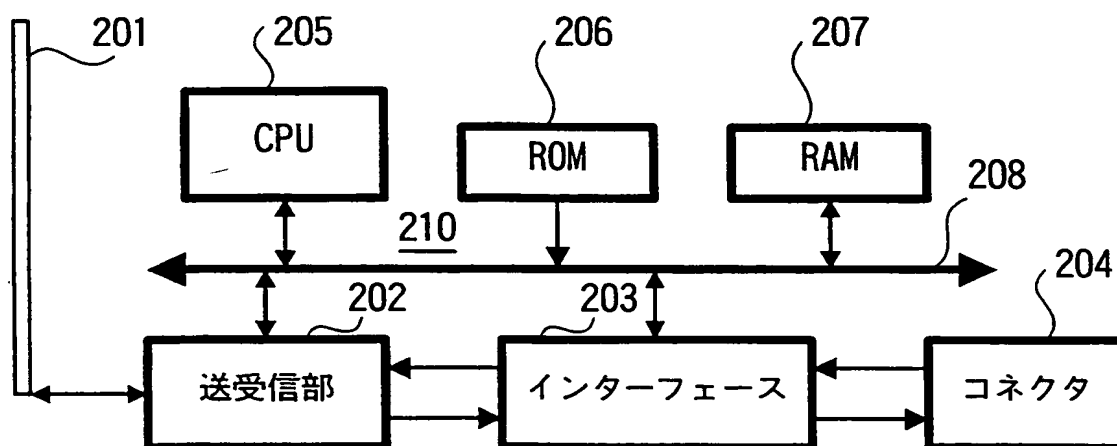
10

This Page Blank (uspto)

15

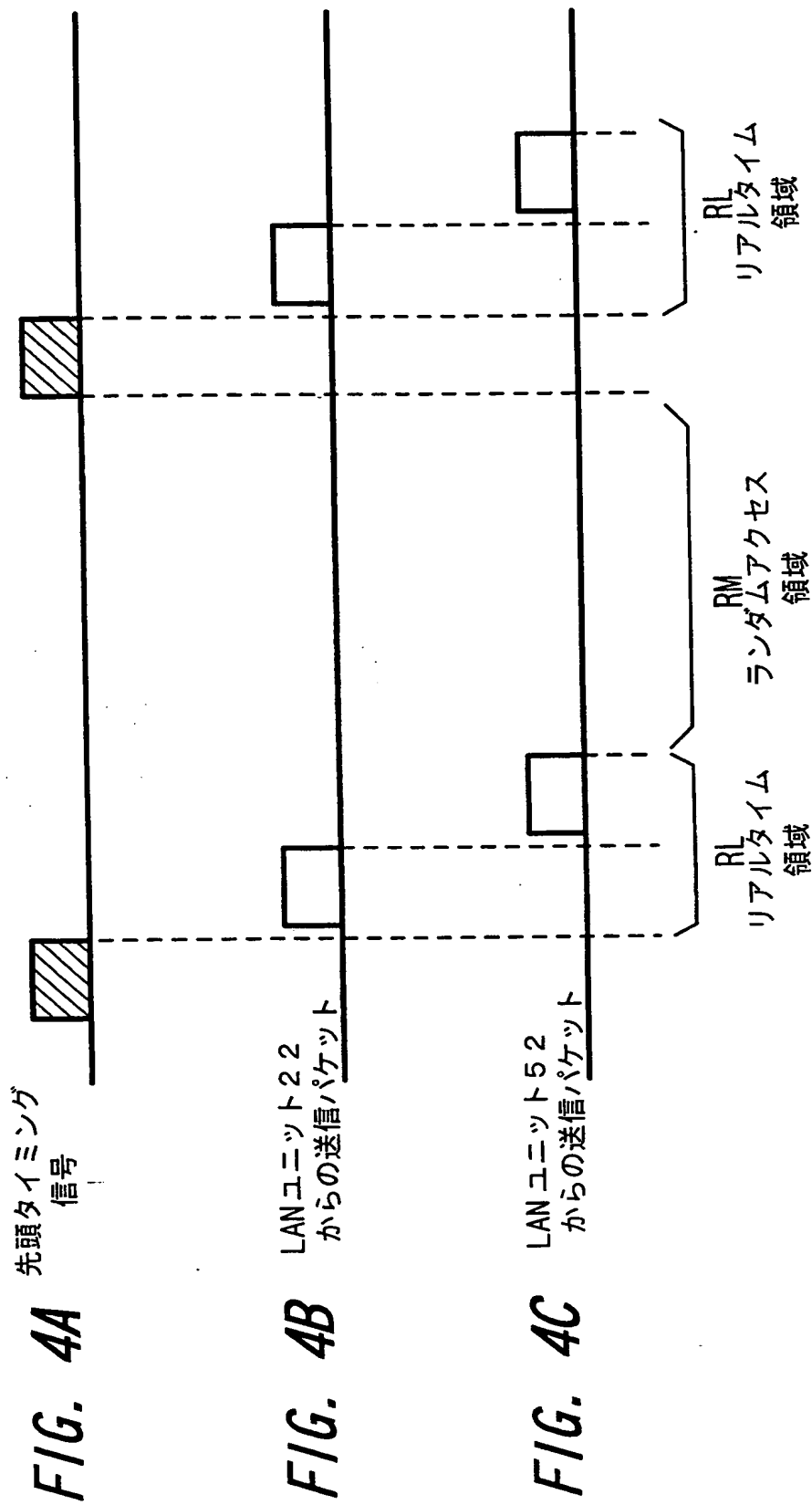
20

25

FIG. 1**FIG. 2**

This Page Blank (uspto)

This Page Blank (uspto)



This Page Blank (uspto)

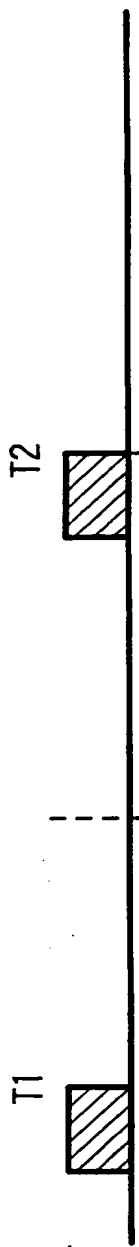


FIG. 5A 先頭タイミング信号

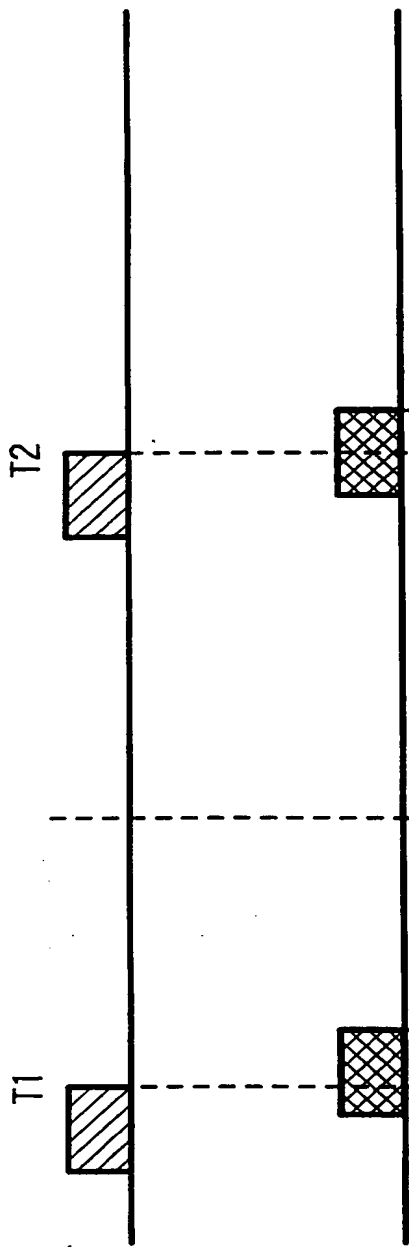


FIG. 5B 妨害信号

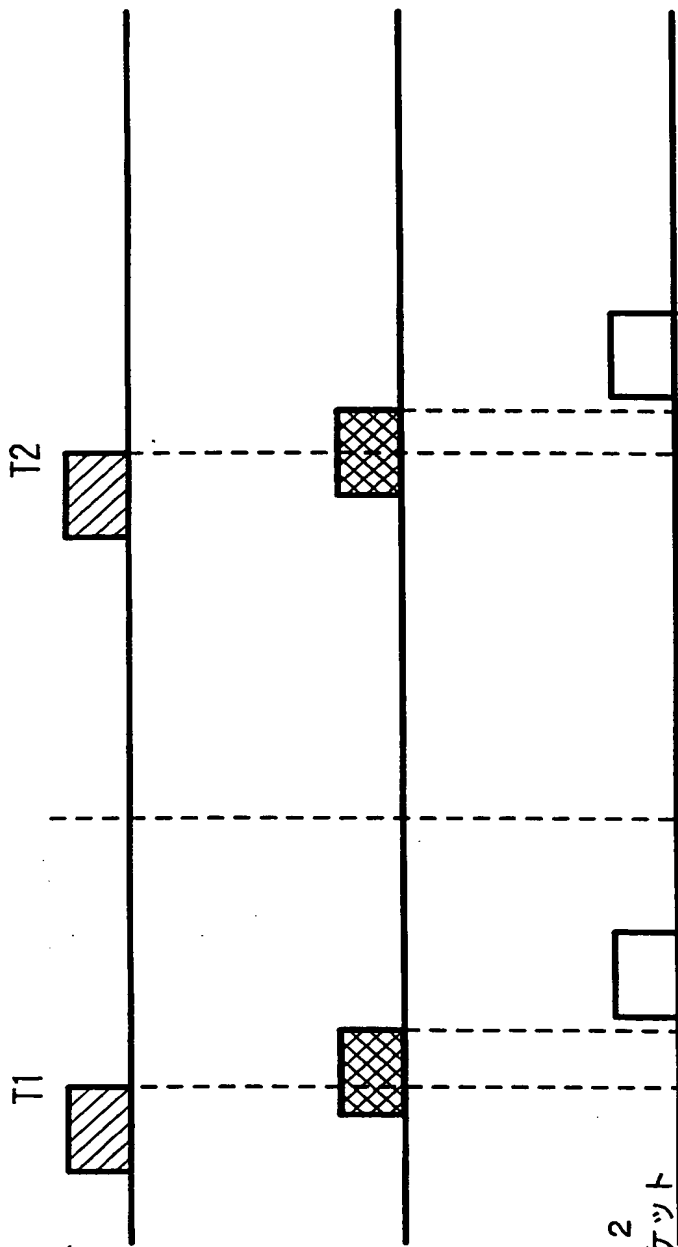


FIG. 5C LANユニット22からの送信パケット

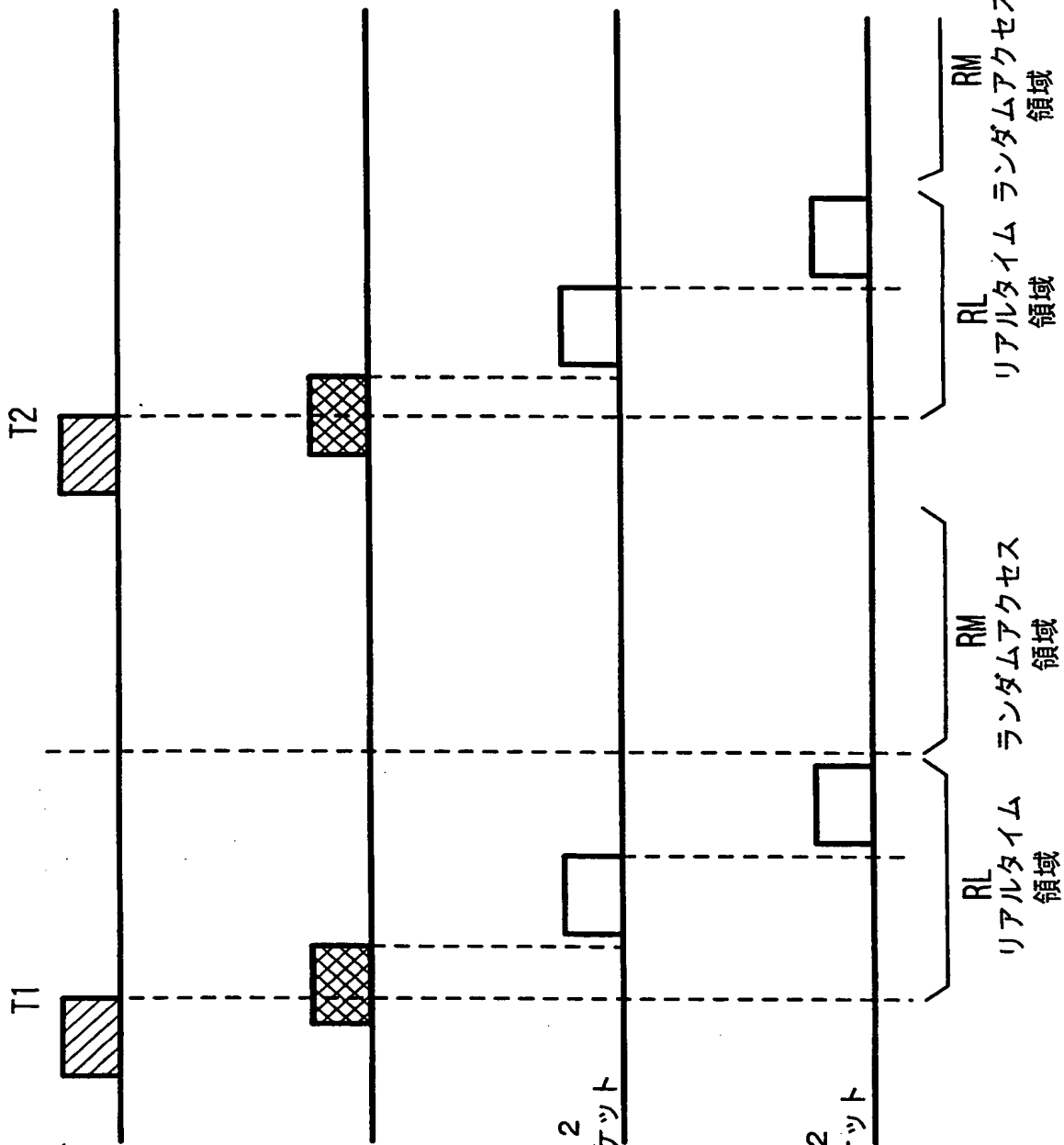
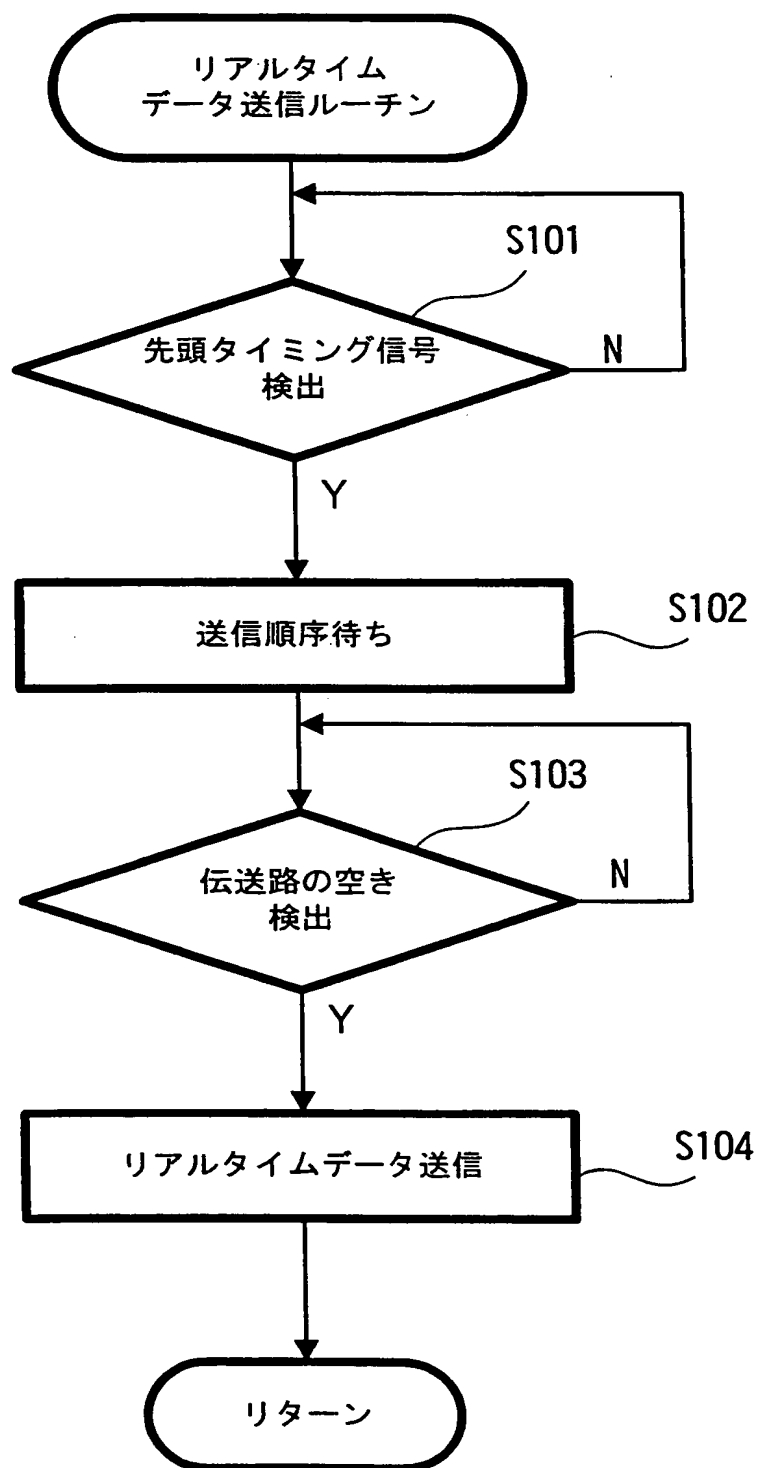


FIG. 5D LANユニット52からの送信パケット

リアルタイム リアルタイム アクセス領域
リアルタイム ランダム アクセス領域
リアルタイム ランダム アクセス領域
リアルタイム ランダム アクセス領域

This Page Blank (uspto)

FIG. 6



This Page Blank (uspto)

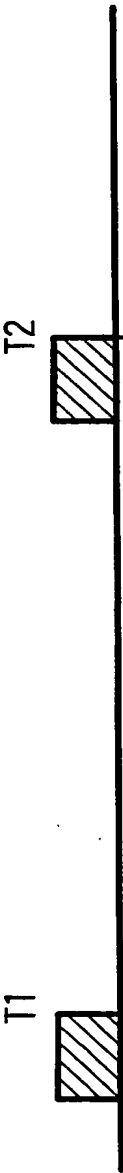


FIG. 7A



FIG. 7B



FIG. 7C

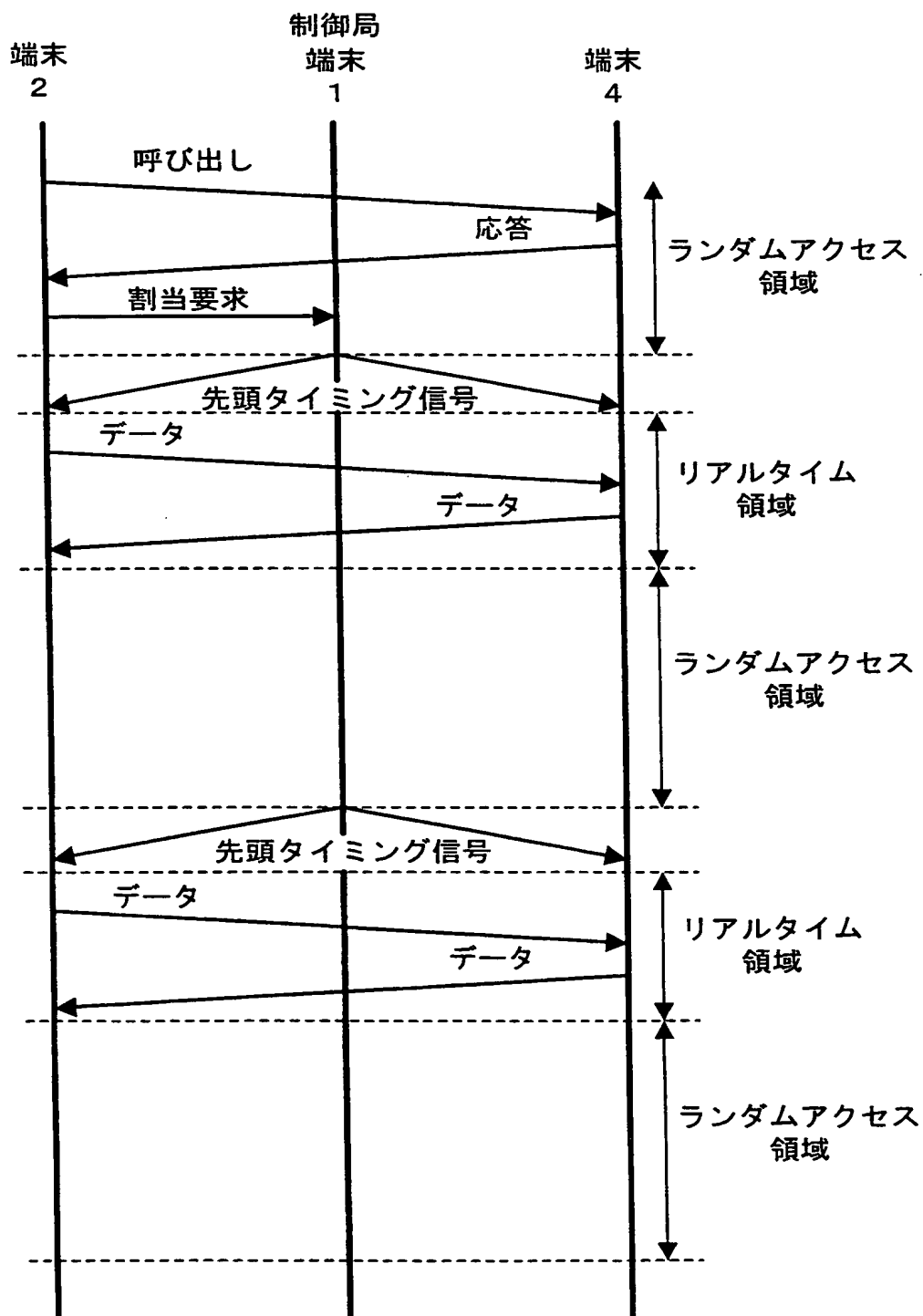


FIG. 7D

RL リアルタイム領域
RM ランダムアクセス領域
RL リアルタイム領域
RM ランダムアクセス領域
RM ランダムアクセス領域

This Page Blank (uspto)

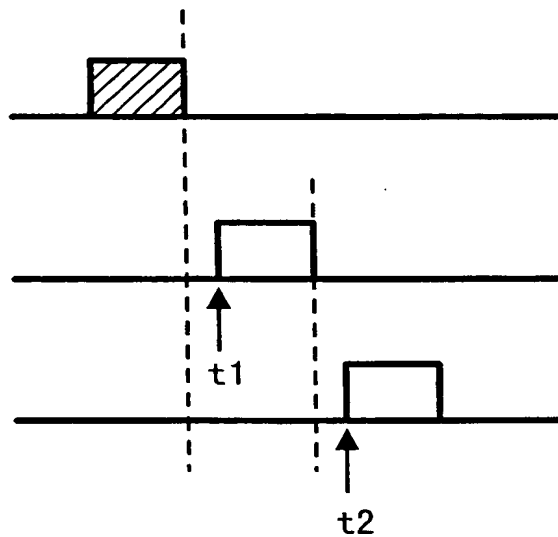
FIG. 8



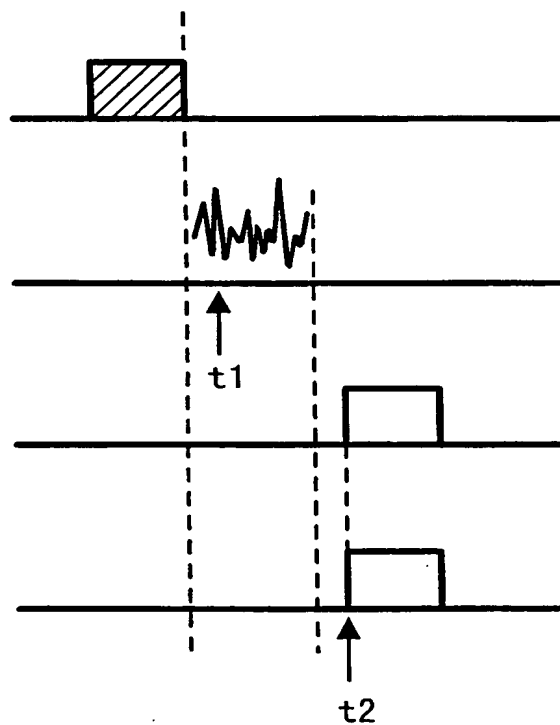
This Page Blank (uspto)

FIG. 9A

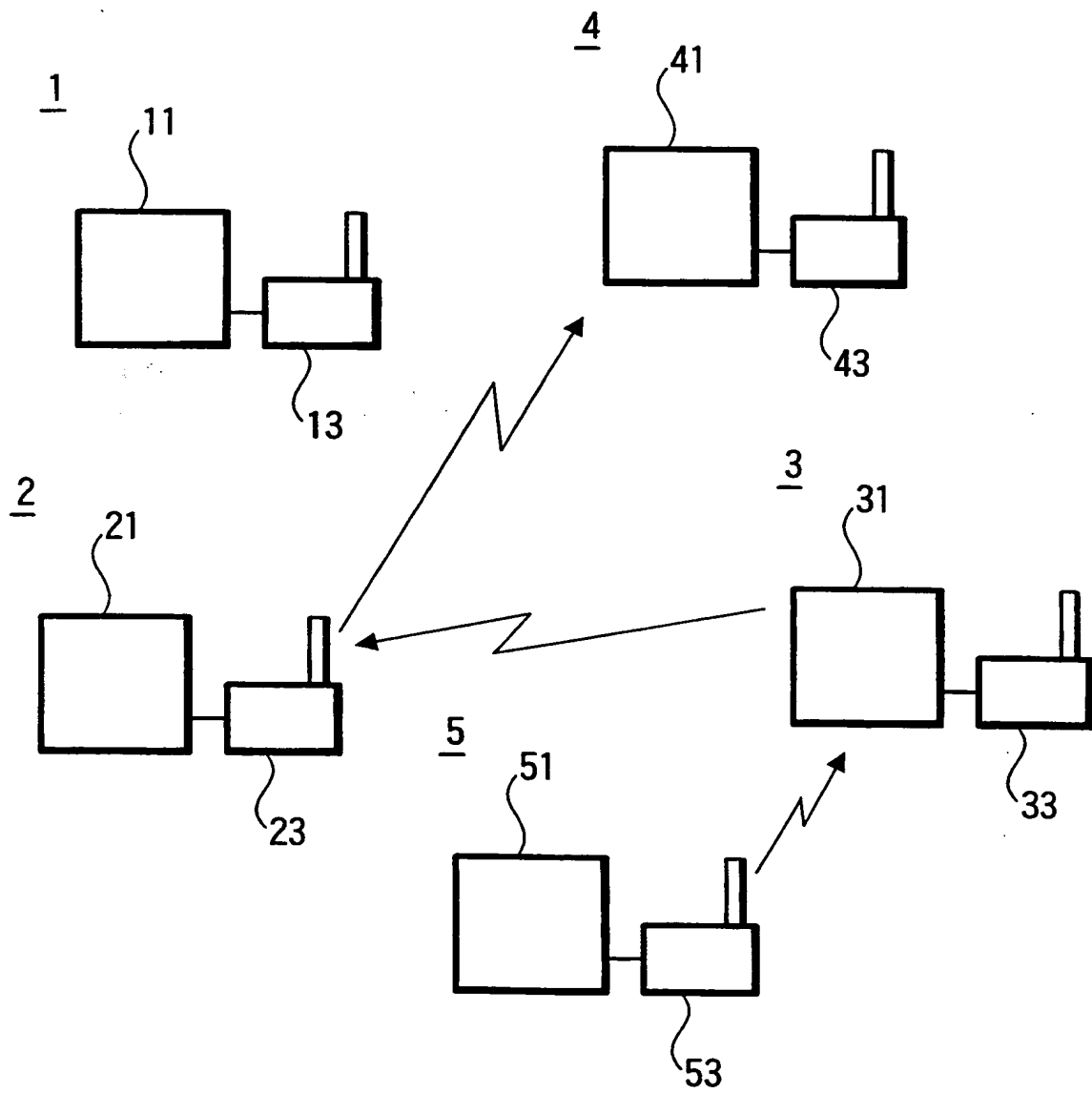
先頭タイミング信号

FIG. 9BLANユニット22
からの送信パケット**FIG. 9C**LANユニット52
からの送信パケット**FIG. 10A**

先頭タイミング信号

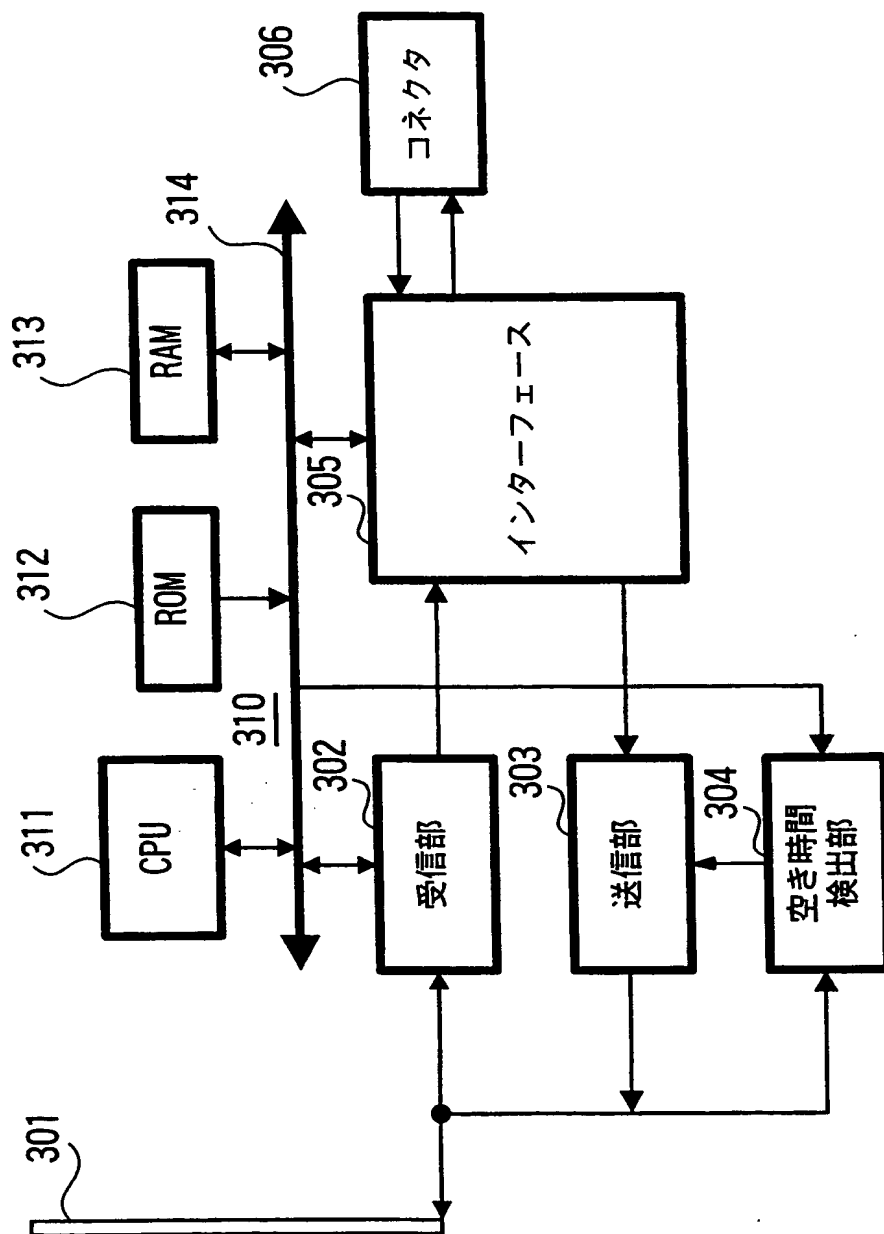
FIG. 10B外部雑音などの
妨害信号**FIG. 10C**LANユニット22
からの送信パケット**FIG. 10D**LANユニット52
からの送信パケット

This Page Blank (uspto)

FIG. 11

This Page Blank (uspto)

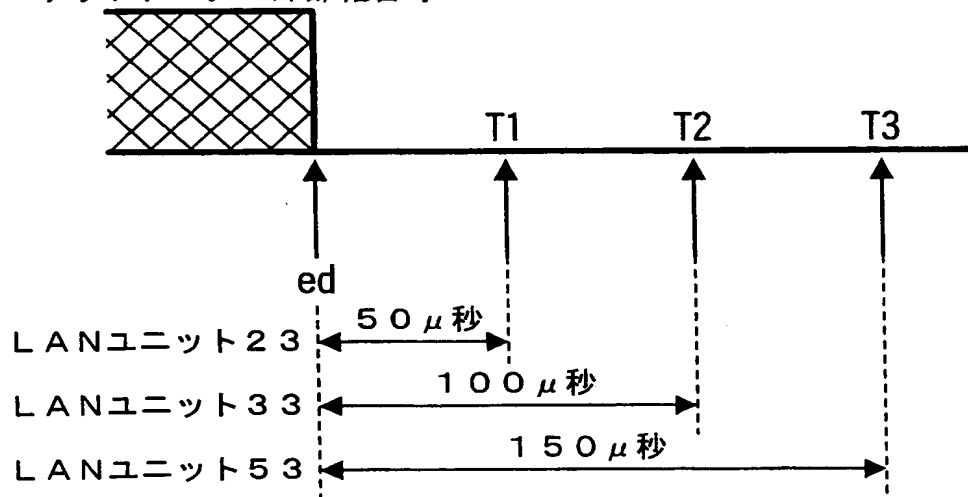
FIG. 12



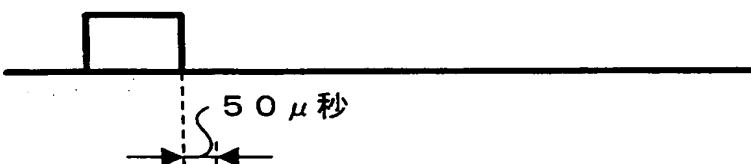
This Page Blank (uspic,

FIG. 13

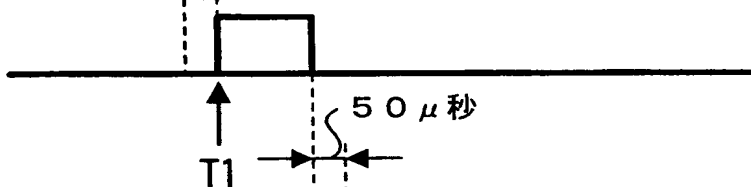
パケットデータ・外部雑音等

**FIG. 14A**

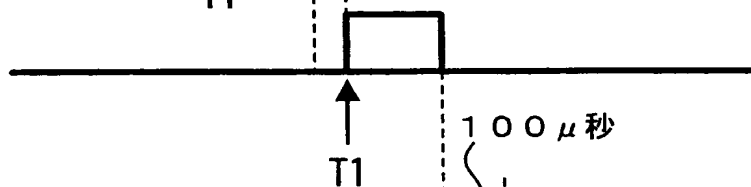
先頭タイミング信号

**FIG. 14B**

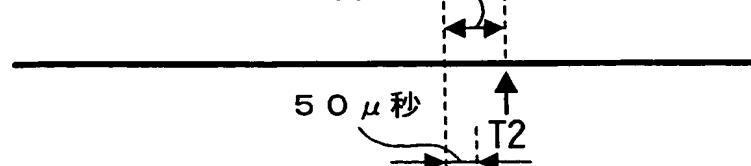
LANユニット23からの送信パケット

**FIG. 14C**

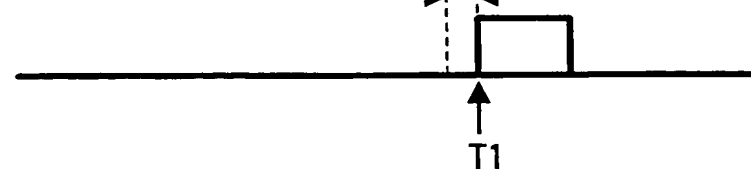
LANユニット33からの送信パケット

**FIG. 14D**

LANユニット53からのパケットの送信タイミング t3

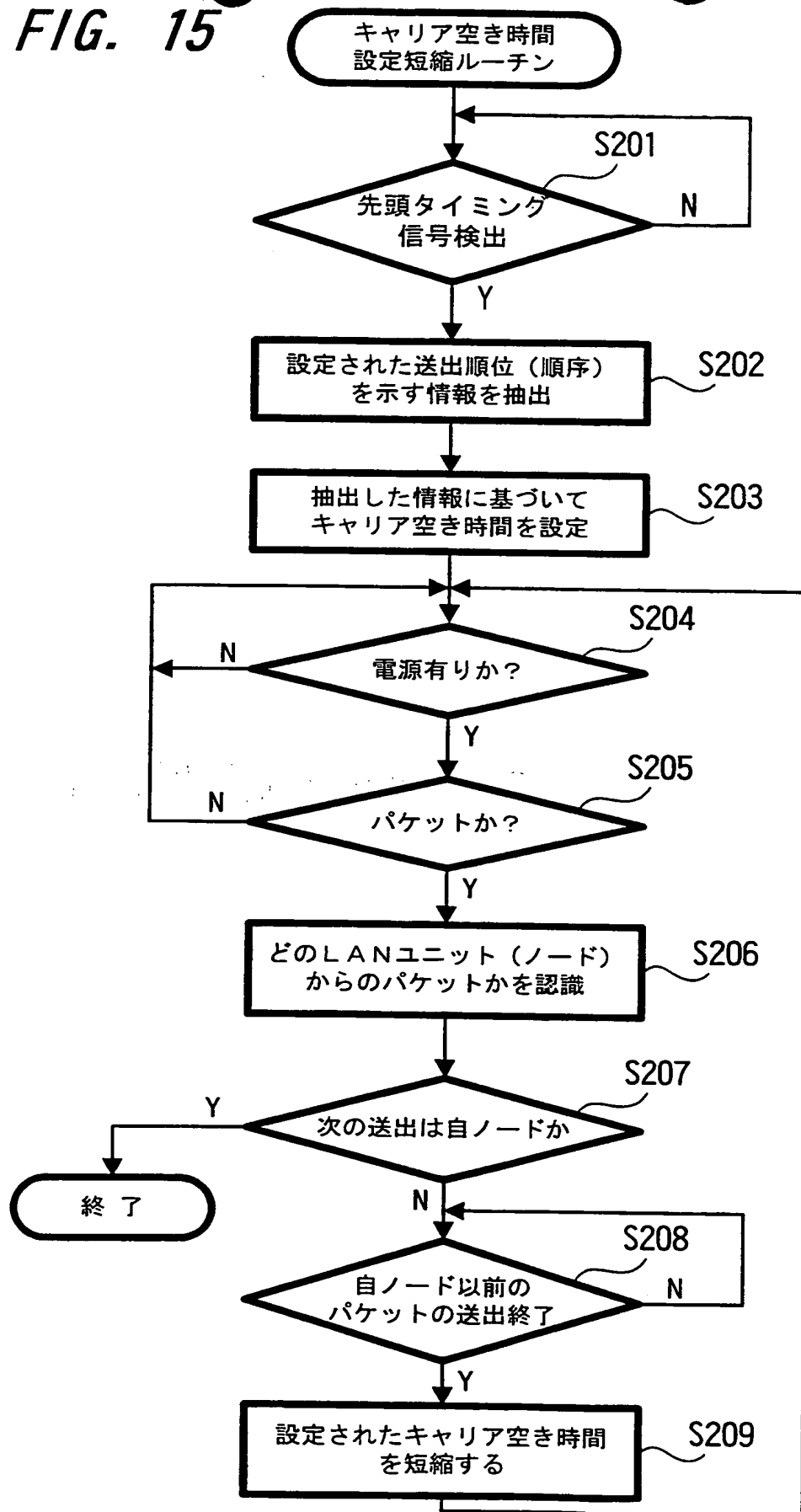
**FIG. 14E**

LANユニット53からの送信パケット



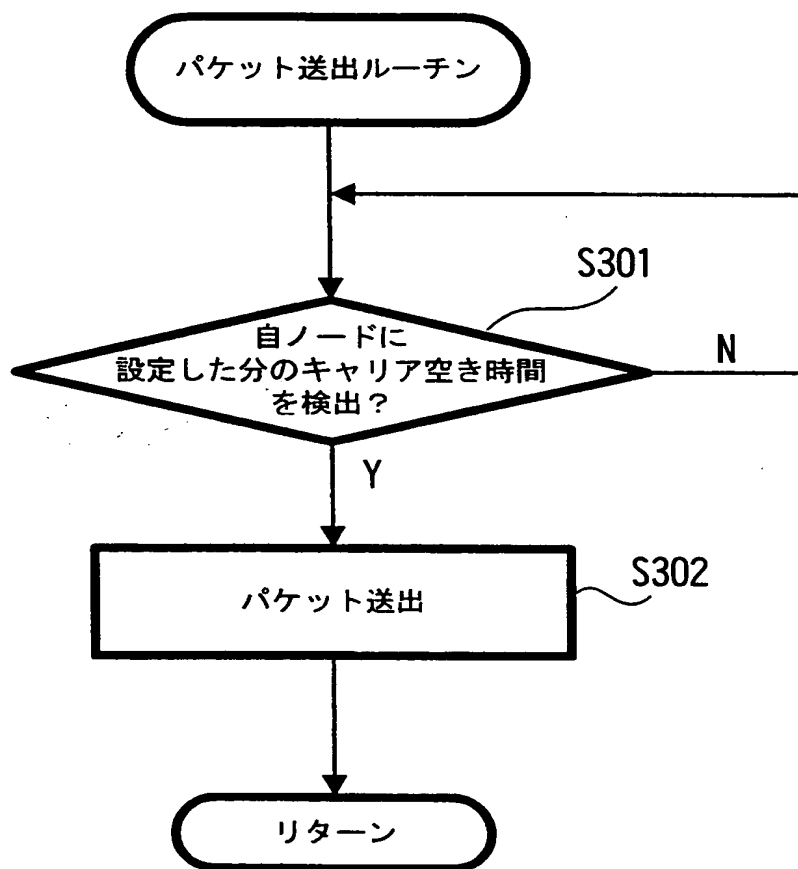
This Page Blank (uspto)

FIG. 15

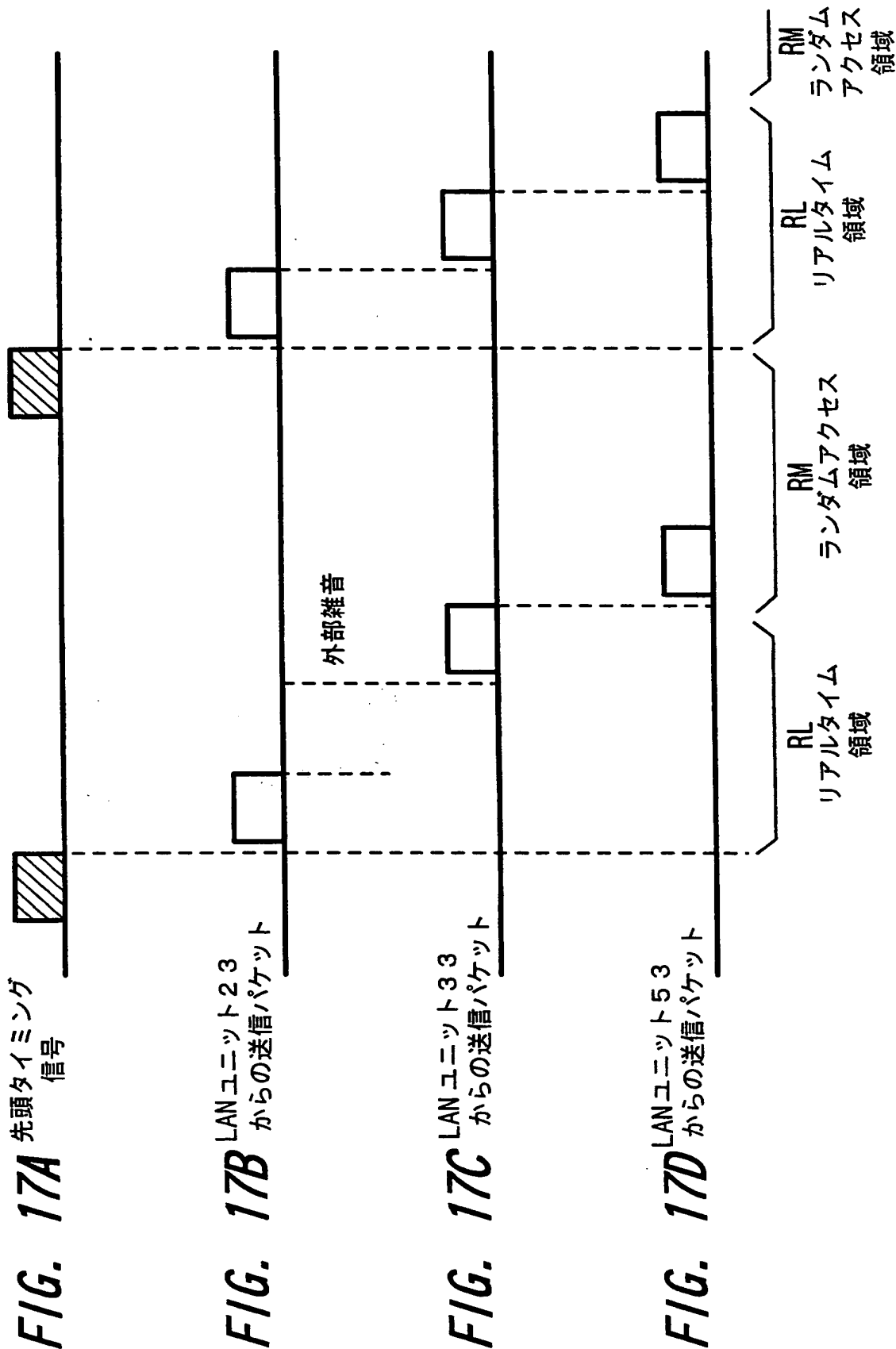


This Page Blank (uspto)

FIG. 16



This Page Blank (uspto)



This Page Blank (uspto)

符号の説明

1 ～ 5 … L A N 端末装置、
1 1、2 1 … ターミナル装置、
3 1、4 1 … ターミナル装置、
5 1 … ターミナル装置、
1 2、2 2 … L A N ユニット（無線通信ユニット）、
3 2、4 2 … L A N ユニット（無線通信ユニット）、
5 2 … L A N ユニット（無線通信ユニット）、
2 0 1 … アンテナ、
2 0 2 … 送受信部、
2 0 3 … インターフェース部、
2 0 4 … コネクタ、
2 0 5 … C P U、
2 0 6 … R O M、
2 0 7 … R A M、
2 0 8 … バス、
2 1 0 … 制御部、
1 3、2 3 … L A N ユニット（無線通信ユニット）、
3 3、4 3 … L A N ユニット（無線通信ユニット）、
5 3 … L A N ユニット（無線通信ユニット）、
3 0 1 … アンテナ、
3 0 2 … 受信部、
3 0 3 … 送信部、
3 0 4 … キャリア空き時間検出部、
3 0 5 … インターフェース部、
3 0 6 … コネクタ、
3 1 1 … C P U、
3 1 2 … R O M、

This Page Blank (uspto)

3 1 3 ... R A M、

3 1 4 ... バス、

3 1 0 ... 制御部

This Page Blank (uspto)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/03734

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ H04L 12/28

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ H04L 12/28 etc.

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2000

Jitsuyo Shinan Koho 1926-2000

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

WPI (DIALOG), INSPEC (DIALOG), JICST FILE (JOIS)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	IEEE TRANSACTIONS ON COMMUNICATIONS, Vol.43, NO.1, (JANUARY 1995), Jeffrey E. Wieselthier, et al., "Fixed-and Movable-Boundary Channel-Access Schemes for Integrated Voice/Data Wireless Networks", pages.64-74 (the system which allocates variably voice slots and data slots)	1, 2, 4-7, 31-35, 54-57
Y	IEEE Std 802.11-1997, Part11:Wireless LAN Medium Access Control (MAC) and Physical Layer (PHY) specifications, "9.MAC sublayer functional description", pages.71-99 (contention region and non-contention region)	1, 2, 4, 5, 7, 31, 32, 33, 35, 52, 54, 55, 57
Y	The Ninth IEEE International Symposium on Personal, Indoor and Mobile Radio Communications, PIMRC'98, Conference Proceedings, Volume 1 (08 September, 1998), Chris Romans et al., "A medium access protocol for wireless LANs which supports isochronous and asynchronous traffic", pages.147-152 (or, the related paper to EP, 924896, A1)	1, 2, 4, 5, 7, 31, 32, 33, 35, 52, 54, 55, 57
Y	US, 5684791, A (NEC USA, Inc.), 04 November, 1997 (04.11.97) (Family: none) Column 10, lines 50 to 55, etc. (retransmission procedures	6, 34, 56



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
 "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier document but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
 31 August, 2000 (31.08.00)

Date of mailing of the international search report
 12 September, 2000 (12.09.00)

Name and mailing address of the ISA/
 Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/03734

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
	and the like in the CBR region can be of reference. The CBR region is, however, not the random access region.)	
A	1995 Fourth IEEE International Conference on Universal Personal Communications Record, (06 November, 1995) H. Xie, et al., "Data Link Control Protocols for Wireless ATM Access Channels", pages. 753-757 (or, the related paper to US, 5684791, A, mentioned above)	1-97
EX	EP, 932277, A2 (SONY Corp.), 28 July, 1999 (28.07.99) & JP, 11-215135, A (or, the related application from the same applicant)	1, 4, 8, 11
EX	EP, 939510, A2 (SONY Corp.), 01 September, 1999 (01.09.99) & JP, 11-252090, A (or, the related application from the same applicant)	1, 4, 5
EX	EP, 939523, A2 (SONY Corp.), 01 September, 1999 (01.09.99) & JP, 11-239114, A (or, the related application from the same applicant)	1, 4, 5
EX	EP, 924896, A1 (Hewlett-Packard Company), 23 June, 1999 (23.06.99) (Family: none) (the contention region, non-contention region and retransmission region)	1, 4
PA	IEEE VTS, 50th Vehicular Technology Conference (VTC'99), Volume 1, Takeo Nasu et al., "Hybrid-Coding and Code-Distinction for Wireless 1394 Home-Link", pages. 507-511 (the radio system for IEEE 1394)	1-97
PA	IEEE TRANSACTIONS ON CONSUMER ELECTRONICS, Vol. 45, No. 3 (AUGUST 1999), Stelios Koutroubinas et al., "A NEW EFFICIENT ACCESS PROTOCOL FOR INTEGRATING MULTIMEDIA SERVICES IN THE HOME ENVIRONMENT", pages. 481-487 (the access protocol on the radio transmission of isochronous and asynchronous traffic)	1-97

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ H04L 12/28

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ H04L 12/28 他

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国公開実用新案公報 1971-2000
日本国実用新案公報 1926-2000

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

WPI (DIALOG), INSPEC (DIALOG), JICST ファイル (JOIS)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	IEEE TRANSACTIONS ON COMMUNICATIONS, Vol. 43, NO. 1, (JANUARY 1995), Jeffrey E. Wieselthier, et al., "Fixed- and Movable-Boundary Channel-Access Schemes for Integrated Voice/Data Wireless Networks", pages. 64-74 (音声スロットとデータスロットを可変割当する構成)	1, 2, 4-7, 31-35, 54-57
Y	IEEE Std 802.11-1997, Part 11: Wireless LAN Medium Access Control (MAC) and Physical Layer (PHY) specifications, "9. MAC sublayer functional description", pages. 71-99 (コンテンション領域と非コンテンション領域)	1, 2, 4, 5, 7, 31, 32, 33, 35, 52, 54, 55, 57

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

- 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

31. 08. 00

国際調査報告の発送日

12.09.00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

猪瀬 隆広

5X

9560

電話番号 03-3581-1101 内線 3594

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	The Ninth IEEE International Symposium on Personal, Indoor and Mobile Radio Communications, PIMRC'98, Conference Proceedings, Volume 1 (September 8.1998), Chris Romans et al., "A medium access protocol for wireless LANs which supports isochronous and asynchronous traffic", pages.147-152 (EP,924896,A1 の関連論文)	1,2,4,5,7, 31,32,33,3 5,52,54,5 5,57
Y	US,5684791,A (NEC USA, Inc.) 04.11月.1997(04.11.97) ファミリーなし, 第10欄第50-55行等 (CBR領域の再送処理など 参照可能. 但し CBR 領域はランダムアクセス領域ではない)	6,34,56
A	1995 Fourth IEEE International Conference on Universal Personal Communications Record, (November 6 1995) H.Xie, et al., "Data Link Control Protocols for Wireless ATM Access Channels", pages.753-757 (上記 US,5684 791,A の関連論文)	1-97
EX	EP,932277,A2 (SONY Corp.)28.07月.1999(28.07.99) & J P,11-215135,A (同一出願人からの関連出願)	1,4,8,11
EX	EP,939510,A2 (SONY Corp.)01.09月.1999(01.09.99) & J P,11-252090,A (同一出願人からの関連出願)	1,4,5
EX	EP,939523,A2 (SONY Corp.)01.09月.1999(01.09.99) & J P,11-239114,A (同一出願人からの関連出願)	1,4,5
EX	EP,924896,A1 (Hewlett-Packard Company)23.06月.1999 (23.06.99) ファミリーなし (コンテンション領域と非コンテンシ ョン領域と再送領域)	1,4
PA	IEEE VTS, 50th Vehicular Technology Conference (VTC'9 9), Volume 1, Takeo Nasu et al. "Hybrid-Coding and Code -Distinction for Wireless 1394 Home-Link", pages.507- 511 (IEEE1394 の無線化システム)	1-97
PA	IEEE TRANSACTIONS ON CONSUMER ELECTRONICS, Vol.45, N o.3 (AUGUST 1999), Stelios Koutroubinas et al., "A NEW EFFICIENT ACCESS PROTOCOL FOR INTEGRATING MULTIMEDIA SERVICES IN THE HOME ENVIRONMENT", pages.481-487 (等時 性と非同期トラヒックの無線伝送に関するアクセスプロトコル)	1-97

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☒ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

This Page Blank (uspto)